京城日報

四月八日夕刊
(朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價　廣告料金
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

○兩河間の激戰
敵軍悉く撃退さる

四日午後より深更にかけリユース、ソンム兩河間に激戰あり聯合軍善戰敵軍悉く撃退されたり(倫敦電報)

○アミアン再攻撃失敗

敵軍のアミアン再攻撃は全然失敗に終りたり(倫敦電報)

○佛軍新陣地占領

佛軍は五日午後モンロードの北方に於ける新陣地を占領せり(倫敦電報)

○獨、英軍驅逐公報

五日午後發表獨逸公報に曰くソンム側の南方にて我軍は堅固なる陣地より敵を驅逐しアメル及びヴイレル、ブレツトノウの東北及び南東の森林地帶及びアヴレ西岸のカステ及びマリイを占領せり今日迄の俘虜九萬砲千三百門以上に達す(倫敦電報)

○牽强附會の抗議
我陸戰隊上陸に對し

浦鹽勞兵會、市會、州自治會は我が陸戰隊上陸に對し抗議を提出せり其理由は『如何なる文明國に於ても殺人は免れざる出來事なれば是れが爲め軍隊を上陸せしむるは非なり』と謂ふにあり(浦鹽特電)

○露紙勞兵會冷笑
其の無力さ加減を暴露せりと

哈爾賓發刊の露國新聞は浦鹽に於ける我が陸戰隊上陸に就き報道して曰く『浦鹽に於ける外國人の勘忍袋の緒は切れたり近來掠奪、殺戮は恐常事として朝夕續出し誰れを兇漢として見分くべきか頗る困難なり日本人の質問に對する勞兵會の二回の回答は果して列國人を安全に保證し得べき回答なりや勞兵會は日本の提督は勿論市民を安んぜざらしめし而已ならず其無力さ加減を暴露したり』と論じたり(哈爾賓電報)

○對邦人妨害運動

四日浦鹽發當地に來れる者の談に據れば『最近同地勞働者が賃金値上問題の爲め同盟罷工を爲せる際日本人が荷積みを引受けたる爲め勞働者は日本人に對し大いに激昂し種々妨害運動を爲し危險狀態に陷りしより日本人側より加藤司令官に對し之れが保護を懇請したり』と(哈爾賓特電)

○勞兵派新聞の恐慌

日本陸戰隊上陸の報傳はるや近々軍事行動開始さる可しとて勞兵會派新聞は恐慌を來しつゝあり(イルクツク電報)

○三國公使の警告

日英米三國公使は七日段總理を訪ひ在支敵國人處分に就き警告を發せり(北京電報)

○倪嗣冲馮總統謁見

倪嗣冲氏は五日蚌埠を出發し天津に一泊七日正午入京直に總統府を訪ひ馮總統に謁見せり(北京特電)

○西園寺侯歸京

西園寺侯は七日興津より歸京せり(東京電報)

○諸名士通過

西川工學博士、鐵道院より北京駐在を命ぜられたる久保田慶一氏、ストツクホルム大學敎授シレン博士、釜屋總督附武官等は八日朝釜山上陸午前十時半發列車にて北行せり(釜山特電)

◉露國政策變更
文部委員聲明

三月三十日莫斯科の新聞は文部委員ナカルスキーの談話として大要左の如き報道を記載せり

勞農政府は今や其政策變更の時機に到達せり現在に於ては政權愈々鞏固となれるを以て之より進んで建設的措置に出づ可く從つて國力を利用し特に經濟的方面に力を注がざる可らず其目的の爲めには有產階級の有力者と協議協力を要するも是等有力者に對しては勞農政府の主權承認を條件とするは勿論若し勞農政府にして社會革命に從事し得ざるに於ては是れ畢竟自滅に外ならず目下吾人の主眼とせるは生產力の擴大にあり此必要を主張せしは初めトロツキーのみなりしも今や政府部內に同意見を有する者多數あるに至れり勞農政府を以て右方に傾けりと爲すものあるも是れ全然事實にあらず右の措置は吾人の目的遂行上必要條件にして勞農階級に於て之を是認し從來の如き社會主義に基づき各種企業を沒收するの弊害を理解せり唯吾人として困難なる問題は政權把握を夢想し居る人より右法に在る社會黨との提携也目下組織せらるゝ赤軍は國家の支柱たると同時に國力を復衞するの任を負ふもの也此赤軍に加はる可き舊將校にして之を政府顚覆の用に供せんとするものある由なるも是れ彼等の誤見のみ

右に關し三月三十一日の新聞は左記數名の言明的言說を掲載せり

レニン曰く『ルナカスキーの話は少しも勞農政府の意見を反影せず個々の新說を一々打消すの違なきも勞農政府の爲す所を見る者は勞農政府が何等妥協的態度を執りたることなきを知らん』コルタン曰く『妥協的傾向は確かに存在し且進捗しつゝあるも十月革命當時の勞兵宣言の趣旨を固持する者は決して妥協主義に聽せざる可し』フライレン曰く『有產階級との妥協は事實にあらず專門家を同階級より招聘せんとするのみ』

◉鮮人官吏恩給令改正要旨

朝鮮人官吏の恩給は從來一般官吏は明治四十三年十月一日より公立學校職員は明治四十四年十一月一日より巡查看守は明治四十三年八月二十九日より帝國官吏と成りたる爲め當然恩給又は退隱料を受くるを得ることゝなり居りたるも今回更に朝鮮人官吏の恩給は法律第三十號を以て其期間を擴張し一般官吏學校職員及び巡查は三十九年二月一日に看守は四十一年一月一日に遡り起算するを得ることゝ成りたるを以て一般官吏及び學校職員は大正十年一月に至れば恩給年限十五年に達し巡查は大正五年一月にて又看守は大正六年十二月にて既に退隱料年限十年を經過したるを以て現在の在職者の退職する者に限り直に退隱料を請求する事を得るの利益を與へられたるものなり之と同時に退官賜金に就ても勅令第二十二號を以て同樣の期間を通算することを得るにつき同日以後退官するものは右年限の賜金を增額し支給せらるゝことゝなりたり

◉申告二萬件
高等委員會の受理

土地調查局長の査定せし土地所有權並に疆界に不服を唱へ高等土地調查委員會に申告する期は三月末日を以て全道共終了し其の地方廳を經て高等土地調查委員會の手に到達するは四月中旬を以て終りとすべきが簡易なる事件の裁決は速かに委員會の手に於て行はるべく告は約四千件內外を發すに至らん結局內容稍々複雜を認めらるゝ申告の推測なるが該四千件の裁決は土地調査事業の大正七年度中に完了せし後も引續き之れを行ふ事となり居り多分大正十年頃までの時日を必要とすべしと尙ほ査定不服申告の累計は約二萬件に上る由

◉黑鉛界稍沈衰

昨春來著しく人氣を集中せし北鮮方面に於ける黑鉛業は近時人氣稍沈衰の氣味あり右の由は內地の鐵工造船業の發達に伴ひ坩堝用の需要は相當增大し居れど一方黑鉛熱の熾烈に伴ひ朝鮮產品の品率非常なるものあり殊に昨春より初秋に亙る黑鉛價の暴騰は西鮮某大手筋の思惑的買占みも若干加味されしもの、如く旁々其の出しと採掘の續行はさなきだに黑鉛の供給を過剩ならしむる傾向あり且つ昨冬來米國輸出に特許を要する等の制限を受けしあり旁々愈々生產は過剩となり最近大手筋も稍事業を緊縮して良品の產出に努めつゝあり但し尙ほ良品は噸四百五十圓所を持し之れを戰前に比すれば約二倍の相場なりと

◉辭令

四月六日附を以て左の通り辭令ありたり

兼任京城工業專門學校敎授 朝鮮總督府中央試驗所技師 片山嵓
叙高等官六等
兼任京城工業專門學校敎授 朝鮮總督府中央試驗所技手 仲野隆一
叙高等官七等
任京城公立高等女學校敎諭 京城府高等普通學校敎諭 古谷傳一
叙高等官八等八級俸下賜
任朝鮮總督府警視 朝鮮總督府警部 徐化淳
叙高等官八等十一級俸下賜
任朝鮮總督府判事 朝鮮總督府檢事 佐藤秋二
叙高等官五等七級俸下賜
補光州地方法院木浦支廳判事
依願免本官 朝鮮總督府遞信技師 神代信平

◉公會堂委員會

六日午後二時より開會せる京城商業會議所新築委員會は豫算工費十三萬圓の支出方法に就き協議を凝したるが結局釘本副會頭と大村書記長同行順次主立ちたる向を歴訪し醵金の寄附を依賴することゝし散會せり依て今後兩氏歴訪の結果にて更に評議員會を開く筈なるが日時未定なりと

◉鮮銀增資如何
切迫せる問題ならず

近時の銀行界は大勢として資本增加の傾向にあり殊に臺灣銀行が來る二十日の臨時株主總會に於て現在資本金二千萬圓を三千萬圓に增加するの提案をなす事に決定せるより鮮銀の增資說を生み居れるが右に付某氏は曰く朝鮮銀行近年の發展は素晴らしきものなり且つ今後支店の增置外國爲替の活動等により銀行資金の增大を必要とする事多く增資は早晚問題となり來るべきも切迫せる事に非ざるべし惟ふに右樣の提案なきは同行の臨時株主總會招集狀によるも知り得べく又鮮銀の一千萬圓增資は昨春決行され本年二月其の第三回拂込みを了したる位にて尙ほ未拂込二百五十萬圓を有し居れり故に假りに增資決行の途に出づるとするも右未拂込分の拂込を徵收せし上ならざる可からず旁々增資を見るも本年の下半期以後となすを至當とすべし

◉神戸港の發展

金谷生

◆神戸より啓上。試みにオリエンタル、ホテルの樓上より、脚下に横はる市街を俯瞰すれば一條帶の如き神戸市の大觀を得られ候

◆樓上呼べば答へむとするは六甲山なり山麓より海岸までは廣き所にて約十數町。これでは狹でも縱に行くか横に延びるかせざるべからず候、而して今日の神戸は東方大阪方面へ膨れつゝこれあり候

◆神戸の貿易額は昨年が約十億圓、而も横濱の如く金目の生絲なくして然りとすれば其潑剌たる元氣は一旅客にも看取せられ候假りに横濱をお婆さんなりとすれば神戸は正に娘盛りとも申さるべく候

◆樓上より指呼すれば海上遙かに横はる築港の壯觀を見られ候、工事費は約一千萬圓、六年度を以て一段落を告げたる由に御座候

◆碇泊せる大小の汽船中には戰船の如く服色に塗りたる某汽船これあり候、是は歐洲通ひの日本郵船の由、更に六千噸の香港丸は其隣りに見られ候へ共往年の桑港通ひの巨船と讃へられし彼女も最早や小さくて見られぬ有樣に御座候

◆神戸人は今、倫敦、紐育と比肩すべき世界の三大貿易港たる神戸をつくらむといたし居り候、これは獨り神戸人の自惚のみならず遠からず實現さるべき事實に御座候外國爲替の決濟の如き船舶のチヤーターの如き世界の中心市場なる神戸とならずんば止まざる如き元氣に御座候

◆人口約五十七萬人、明治元年の一萬五千人に比すれば正に五十倍の進歩に候

◆今や神戸は世界的大都市たるべく市區改正、電車電燈の市營等おなその大抱負に向つて進み居り候(四月六日神戸にて)

◉朝郵總會期
決算案出來

朝鮮郵船會社の大正六年度下半期決算は三月末日を以て締切り爾來會社計課の手にて精算執行中の所四日全部出來せるを以て同日川田文書課長は一件書類を携帶の上原田會長の閱覽を求むるため東上せしが七日夜著京せし筈にて同田氏の承認終れば十四日頃迄に重役會を開く事となるべく其の結果株主總會は多分二十八九日頃本社に招集するに至らん尙ほ當期の成績は收入に於て前期より著しく增加せしも支出は石炭食料品船員手當等頗る增嵩せるに付結局純益勘定に於ては大差なかるべく配當も多分年一割の割ならんと

◉橫斷航復航

三日夜元山を發して敦賀に向へる朝鮮郵船會社の淸津敦賀線就航船平壤丸は六日早朝敦賀入港定期により八日午前五時敦賀出帆元山に向ひたる旨八日朝鮮郵船に入電ありしが往航は滿船なりしも復航は雜貨を主とし百二十噸の積載に過ぎざる由なり

◉南連線開航

大連鎭南浦間の航路は朝鮮郵船にて四日より開航したるが當分南浦よりは白米の大連積出し多く大連よりは豆粕の朝鮮仕向け尠なからざるに付就航の小型船は滿船ならん

◉京城局增收

京城郵便局の通信事業收入は大正三年度に於て六十七萬三千圓なりしが五年度七十九萬四千圓、六年度九十三萬四千圓と增加し來り此の趨勢によれば本年度に於ては優に百十數萬圓に達すべき見込なりと

○陸戰隊と路傍演說
上陸の意義に就て了解著しく

我が陸戰隊浦鹽上陸に際し司令官は善良なる市民及び居留民を安全に置く外何等目的無き旨の掲示を全市に貼付せしめたるが平素に於てすら路傍演說を好む露國人等は此陸戰隊上陸に對し早速路傍演說を開始し各自新聞の號外を手にして日本の行爲を批評せるが了解せるものゝ如き模樣なり、猶陸戰隊指揮官某少佐は曰く『予の受けたる使命は邦人其他諸國民を保護するにあり決して戰鬪を爲すに非ず市中巡邏隊も注意す可し』と更に他の日本艦隊參謀は說明して曰く『白晝在留民の生命を脅さるゝは安寧秩序紊亂せるものと認め上陸を決行せるものなり浦鹽以外の市街にして紊るゝ事あらば兵員に限りある陸戰隊は是れに對し行動する限りに非ず』と(浦鹽電報)

◉新義州檢疫廢止

支那に於けるペスト侵入豫防の爲め新義州に於て汽車檢疫施行中の處此程全く終熄したるを以て八日より同檢疫を廢止したり

◉馬山資金流出入

馬山に於ける大正六年度の一般資金流出入總額を聞くに左の如し

●流入の部●

內地より	一、八八九、八五五
他道より	五、二四八、一一九
外國より	九、七〇一
計	七、一四七、六七五

●流出の部●

內地へ	一、四一六、四四四
他道へ	五、三五〇、四七六
外國へ	一四、二三九
計	六、七八一、一五九

にして差引三十六萬七千五百十六圓の流出超過を示せり(馬山電)

◉學校組合表敬

京城學校組合にては今年度龍山中學校開設されたる爲め子弟の敎育上京城在住者一般の被るべき恩澤尠からざるを欣幸とし組合議員大垣丈夫、田中半四郞兩氏を代表者として八日午前十一時長谷川總督宇佐美內務部長官、關屋學務局長を總督府に訪問し敬意を表せり

◉殷修氏入京

前滿朝鮮學部大臣殷修氏一行五名は日本經由渡來の途八日朝入京朝鮮ホテルへ投宿せり

◉軍司令官邸午餐會

軍司令官松川中將は八日午後零時半同官邸に於て午餐會を開き李堈公殿下を始め朝鮮貴族及び李王職の重なる人々五十餘名を招待せるが陪賓として軍勅任、部長高級副官高級參謀等列席せり

◉市川參謀長歸任

徵兵檢査施行の爲平壤に出張中なりし市川參謀長大郞に出張中の竹內副官共に七日夜歸任せり

◉青木農務課長

豫て產牛視察の爲め支那へ出張中なりし青木農務課長は八日午後七時二十五分南大門驛著列車にて歸任す

◉重田咸興高普校長

重田勘次郞氏は這回新たに咸興高等普通學校長に任ぜられ九日午前九時三十分南大門驛發列車に搭乘元山を經て赴任す可しと

◉大崎技師著任

新任總督府農業主任技師大崎莊作氏は八日午後九時著列車にて著任旭町一丁目三三の自邸に入れる由

◉飯泉課長出勤

病氣引籠り中なりし鮮銀國庫課長兼秘書役飯泉幹太氏は快癒に付八日より出勤せり

人事消息

▲岡田代議士 八日夜歸京の筈
▲中村中佐(滿鐵顧問) 釜山より八日朝入京朝鮮ホテルへ

臥床閑話

病鯨洋

○次に面白きは、佛露兩國の王家が、其國民より、敵國に內通するを疑はれたる事也。ルイ十六世の皇后、マリーは、墺國皇后マリヤ、テレザの愛娘也。されば佛國人は、皇后を目して、オーストリアの女と稱し、常に嫉疑の眼を以て監視したり。果して佛國革命の勃發するや、皇后は王に勸めて、墺國の援助を得て、人民の運動を排壓せんとし、ルイ亦之に敎し、對墺宣戰の日に於ては、佛國の作戰計畫を告ぐるの密書を、其兄墺帝に送れり。而して遂にルイ自ら墺國に走りて、其援助を借らんとせり。爲に王政は忽ち顚覆せられ、僻むべしルイ第十六世は、ギロチン臺上の露と消ゆるに至れり。

○露國皇后アレクサンドラ、フオドロヴナは、獨逸聯邦中の、ヘツセ大公アーネスト、ルイの妹にて、親獨主義の噂高き女性なりし也。皇帝ニコラス二世も亦、カイゼル、ウイルヘルムとは竹馬の友たり。一旦輿論に迫られて、露獨の開戰を見たるも、其內心は、事實に於て、單獨講和を希望し、破竹の如き露軍の勢力をも、暗に之を牽制し、之を妨害し、獨逸に對して、聯合國側の、作戰を漏したりとの風說あり。殊に皇后が其間に處して、味方なる聯合軍の、不利を知りつゝ敵獨逸の爲に計りたりとの噂は、其確證としては之無きとは云へ、最早何人も事實として之を承認する處也。されば之れが、露國革命の導火線となり、久しくロマノフ家顚覆に對する、一大原因となりたるは、敢て疑を要せざる也。

○更らに兩國革命の結果に見るに、佛の革命が、一貫一致せる信念と、一種の誇負とを有せるに比し、露國の革命は、統一すべき何物をも、有せざりし也。

○佛國にては、革命を進展せしむべき、敎育ある分子、即ち中產階級者が、比較的多數なりしに比し、露國にては、其等の少數なりしが爲に、革命上の理想に、一貫せる中心を見出す能はず、遂には中產階級に對する、勞働者の戰爭となるに至れり。

○佛國の革命者は不知不識の間に、國家主義を中心とし、愛國奮鬪の覺悟を有せしも露國の革命者は、所謂ワイ〳〵の間に、之を決定せんとしたりし也。

失題

江南生

齊陽貨厚鑿如椽
讀得蒼生代難
擢爲遜朱門足倍怨
身安陋巷志逾賢
春風華發六千卒
秋根深三十年
官樣別傳歐公意
非儒非佛亦非僊

●身體貧血せる人●生來虛弱なる人●食慾缺乏せる人●精力減退の人●產後病後に衰弱せる人●萎黄病の如き血液疾患の人に好適の飲料なり

赤門人參規那鐵葡萄酒

發賣元 大阪 小西商店洋酒部
到る處の信用ある洋酒食料鑵詰店にあり

十一月一日現行

◉鐵山鑛夫と製鐵所人夫 二千五百市街に格鬪

＝兼二浦空前の大騷擾＝

支鑛夫千來襲、鮮人夫千五百對抗

◆家屋破潰され死傷多數◆

三菱當局冷淡なりと非難さる

七日夜兼二浦三菱鐵山鑛夫支那人一千餘名が手に〳〵拳銃又は斧梶棒其の他兇器を携へて兼二浦市街に襲來し三菱鐵工所の人夫朝鮮人一千五百餘名と大格鬪の末血の雨を降らしたる椿事あり

▼原 因

は未だ取調中にして判明せざるも是等の鑛夫及び鐵工所人夫は同じ三菱製鐵所に使役せらるゝものなるも鑛夫は市街より遠く隔りたる鐵山にて採鑛に從事し又た製鐵工場の職工及び人夫は兼二浦市街にある同工場にて勞働に從事し居るなるが何故か平素仲惡く事毎に反目し居たりしに去る五日夜支那人鑛夫の群れが市街の鮮人妓樓を素見しゐたる處料理店小泉樓附近にて製鐵所の鮮人夫と衝突して格鬪せしことあり夫れかあらぬか七日午後九時過ぎより鐵山の支那人夫一千名は前記の如く各自兇器を携へて三々伍々市街地に入込み要所々々に張込みして鮮人夫と見れば手當り次

◆大騷擾！危殆にせまりし兼二浦

第に暴行を加へたるにぞ鮮人夫側にては事容易ならずと見て取り仲間の加勢に集るもの引きも切らず茲に端なくも一千五百餘名の鮮人夫と一千餘名の支那鑛夫の大衝突を見るに至り支那人中には拳銃を携へたる者約四十名あり盛んに發砲し其の銃聲凄じく爲に即死四名重傷者四十餘名、輕傷者七十餘名を出したり

▼警鐘を亂打し 鎭壓につとむ

是より先き兼二浦駐在所にては支那人鑛夫の市街地に襲來する前之れを阻止せんとて設田巡査部長以下所員總出にて東兼二浦附近にて之を喰止めんとしたるが遂に衆寡敵せず爲に枝木巡査は多數の鑛夫に包圍せられ制帽及び帶劍さへも奪はれたる始末なるより一方兼二浦市街にては警鐘を亂打し八十餘名の消防隊出動して鎭壓に努めたるが何分にも二千數百名の壯漢が必死となりて荒れ狂へる事とて殆んど

▽手も附 けられず又た商工協會にては會長竹中吉之助氏以下評議員其他會員等何れも獵銃等を取出して人夫等の暴行を防禦し何時果つべしとも見わざりしが一方又た此の

▽急報に 接して黄州警察署より田邊署長警官十名を率ゐて徒歩急行し來り一行の午前三時頃兼二浦に著せし頃は双方疲れあぐみて次第に引揚げたる後なりし

▼午前二時騷擾止む

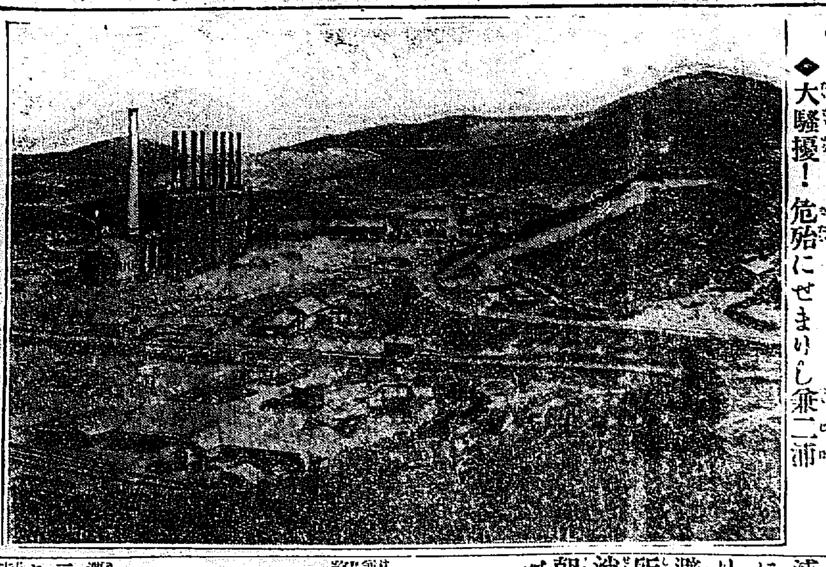
八十餘戸破壞さる 此の大騷擾は漸く午前二時過に至りて靜穩に歸するに至れるが目下其の主謀者等捜査中なるが之れが爲め兼二浦市内にて人夫等の爲めに家屋を毀はされ又は

▽掠奪に 遭ひし者尠なからず就中東兼二浦崔衡鎭方の如きは家屋を破壞され支那人鑛夫亂入して現金五十圓を奪はれし等其の他被害頗る多く鮮人妓樓にて支那人鑛夫の爲め家屋を破壞されし家八十餘戸に及べり爲めに兼二浦市にては内鮮人壯丁の義勇團組織せられ人夫等の退散せし跡にも要所々々に篝火を焚きて非常を警戒せる等實に此の地始まりて以來の

▽大騷擾 なりき然るに當の責任者とも稱すべき三菱製鐵所員等が此の騷擾に對して甚だ冷淡なる態度を執り毫も之が鎭壓に努めざりし事に對し一般市民は尠なからず憤慨し居れり而して此の報に接し平壤地方法院より八日朝豫審判事及び檢事出張して檢證をなしたり（八日午前八時兼二浦特電）

▼元馬賊あり

騷擾鑛夫中に 兼二浦鐵山の支那人鑛夫中には元馬賊たりし者多數を占むるとの說あり（平壤特電）



▼今八日夜更に襲來の風說あり＝後報

◇市民避難し警戒嚴重◇

三菱製鐵所八日より事業休止

七日夜の支那人鑛夫は今猶鐵山附近にありて八日夕更に兼二浦を襲はんとの風說あり兼二浦の居住民中三分の二は店舖を閉鎖し他地方に避難する者あり百餘名の蝟甫は駐在所に集りて保護を受け居れり又市内の鮮人は山中に避難し兼二浦市場は火の消えたるが如し製鐵所は八日より事業を休止せり警察官は武裝し消防手と共に警戒嚴重を極め殺氣立てり八日朝來警察官消防手の爲め市民は炊出しを開始せり（平壤特電）

▼應援隊増派を電請

避難民の爲め無蓋車を發す

兼二浦避難民の爲平壤驛より無蓋車を出せり又黄州警察署長は警務部長に對し憲兵巡査の應援隊を増派す可く電請せり（平壤特電）

◉浦鹽遭難者葬送

會葬者一萬 未曾有の盛儀

遭難者石戸儀一氏の柩は七日午後二時よりキタイスカヤ、キンスカヤ、アウレツスカヤを迂回し本願寺に入り約二時間にて式を了りたるが會葬者は各國領事英、米、日各水兵其他日露人にて無慮一萬を算し未曾有の盛儀なりき（浦鹽特電）

◉光瑞師 大連に來る

大谷光瑞師は十一日大連著にて上海より大連著星ケ浦ヤマトホテル別莊に當分安靜なる生活を送る筈なり師の病氣は其後全

◉笠之段

＝神尾英千雄の仕舞＝

四月七日正午から京城南山町梅の家で京城觀世會春季大會がひらかれ會員の玄謠仕舞『大原御幸』『玉井』『仕舞』鉢の段（鈴木黍郎）八島（大庭）羽衣（早水）烏丸（津川）通小町（大田）舞囃子『栗谷山』（足立）『百萬』（北島）『邯鄲』（植木）ありたり

◉發動機船坐礁沈沒

乘員異狀なし

咸鏡北道警務部長より警務總監部への電報に依れば元山府高渚勇太郎所有の發動機船御神丸（五十二噸）は乘客五名と貨物とを滿載し浦鹽に向け航行中四月四日午前一時頃豆滿江口なる西水羅の沖合にて坐礁して遂に沈沒したるも乘客並に乘組員には異狀なく原因及び損害は取調中なりと

癒し今は病氣前と同樣に健康體に復したり（大連）

◉隈川醫科大學長薨去

正三位に陞敍せらる

東京醫科大學長醫學博士隈川宗雄氏（六二）は黄疸にて青山内科に入院中の處七日午後六時遂に薨去せり因に博士危篤の旨 天聽に達するや特に正三位に陞敍せられたり博士の後任は多分佐藤三吉博士なる可しと（東京特電）

▼醫化學界の權威

學問道樂

＝逝ける隈川博士＝ 親切な處もあつた

右に就き醫科大學內科部長青山胤通博士は語る 隈川博士が醫科大學長になられたのは昨年青山博士が亡くなられると間もなくである大學では醫化學即ち排泄物の分拆とか新陳代謝に關する方面を受持つて居られたが非常に

◇◇造詣の深 い人で醫化學界では所謂オーソリチーとして重きを爲して居られた、爲人謹直で勉强家、何時も敎室に閉ぢ籠つてコツ〳〵と研究すると云ふ風であつた

◇◇若い時は 却々好く飮んだもので斗酒尙辭せずと云ふ酒豪であつた相だが此外には格別趣味も道樂もない、强ひて云へば學問即趣味であり道樂である、それで學問一點張りの冷かな人かと思ふと然うでもなく反面に

◇◇却々親切 なところがあつて門下生なども親切に指導せられたものである、だから一度博士の指導を受けたものは非常に博士を尊敬し所謂『三尺去つて師の影を踏まず』で惡口一つ云ふ者はなかつた、博士は元來

◇◇三河の人 であるが幼少の時神田の隈川宗悅と云ふ人の養子になつて隈川姓を冒したのである、養父も醫者であつたが却々の八釜し屋で醫化學專門の博士に對して常に『患者を診よ〳〵』と云ふ有樣に博士は大閉口『乃公にそんな事を云つたつて

◇◇無理だよ』 と好く親しい友人に溢ぼしては大笑ひせられたものである、博士は今年漸く耳順を超ねたばかり未だ老境と云ふ程でもないのに今や溘焉として逝かれたのは我學界の爲め誠に痛惜に堪へない

略歷 君は舊三河重原藩士原有隣氏の二男にして安政五年十月十三日を以て生れ明治二年隈川宗悅の養子となり後分家して一家を創立す同十六年東京大學醫學部を卒業して醫學士の稱號を得翌十七年同大學御用掛となり同年獨逸國に遊學し在留五年歸朝後帝國大學醫科大學敎授に任ぜられ同二十四年醫學博士の學位を受け後に東京帝國大學醫科大學長の職にありたり（自宅東京本郷向岡彌生町二）

◉三浪津倉庫燒失

附近民家に延燒

慶南密陽郡下東面三浪津驛洛東江荷積倉庫より三月二十八日午後一時五十分頃出火し附近民家に延燒したるより洛東江及三浪津の兩消防組二百餘名出動して消防に努めしも折柄の强風にて遂に四戸五棟を全燒し二棟を半燒して同三時十分頃鎭火せり損害約八千五百圓人畜には死傷なし原因は確かならざるも當日は市日とて倉庫の附近に多數の露店あり多分煙草の吸殼が堆積しありて棉に延燒して大事に及びたるものゝ如しと滿鐵會社にては社員を派し罹災民に若干の見舞金を交付したり

◉三菱工夫慘死

溶鑛爐足場の支柱に壓され

六日午後六時頃兼二浦三菱製鐵所溶鑛爐人夫白日乾（三八）は作業中足踏臺の支柱が倒れ其の下敷きとなりて壓死したるが三菱製鐵所工事開始以來之れにて鐵山を合せ七名の犧牲者を出したりと（兼二浦）

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

▲謎「京城とかけて」

○日旱の田畑と解く心は水が欲しい（一等） 京城大和町ノ一中山方 桑田甚助

▲お產と解く心は南山『難產』もあれば流產『龍山』もある（先著） 龍山 茂久平

同案者、客遊亭扇子、成歡錦子、京城宮江子、本町朝陵亦、黄金町兎角、寧越錦子

▲助產婦の心配と解く心は南山（難產）を背負つてる 京城 卜の字

▲病人と解く心は水が欲しい 京城 敏子

▲高等學校の入學試驗と解く心は南大門（難題門）を通らなければ入れぬ 仁川 穗坊

▲眞田の旗印と解く心は六文（六門）ある 京城 智案茶庵

□課題及募集規定

□募集規程▲用紙は端書又は同寸の用紙一枚毎に雅號又は名を冠し住所氏名明記の事▲一等

商況

兵庫期米

八日前場 寄付 三番 二十六圓四十三錢 二番 四十三錢

東京期米特電

大阪株式特電

八日後場 一番 二十六圓 三番 五圓九十九錢 六番 九十一錢

大阪三品特電

大阪期米特電

八日前場寄付	[illegible]
四月限	三五七、一〇
五月限	三六二、九五〇
六月限	三六五、〇〇
七月限	三七二、〇〇五
八月限	三七八、八〇
九月限	三七九、九五〇

下關期米特電

八日前場 寄付 二十六圓十八錢 ［illegible］

◉三品奔落す

綿報

◉米棉二圓安

當限十七八圓先限小十圓方の奔落 綿布も三銘十一圓二十錢

◉期米小波瀾

◉正米氣强し

万引締氣配も十錢

眼先の形勢

◉銑鐵漸次硬化

各地商況

◉大豆は小强し

下關相場

◉洋釘先高唱へ

時に在荷缺乏

入氣幾分引締

買進み口現はる

◉夏織物高氣配

一割方の騰貴を示す

◉丸鐵類氣迷ひ

漸次强調

入荷約定品一時多少氣迷ひ

目越し賣惜み

前途の大需要

市場雜觀

南大門の廻穀

仁川正米

釜山穀物（七日）

仁川期米

▲八日前場（暴落） ▲第一節 當地前寄未著にて

先二十二圓三十錢安に寄付き 四錢安に寄付

二十錢高 一昨止より

先四十錢と新高値に上放れたる

◉內海仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川本町 電話長六一五番

中三十二錢と暴落

十五錢と暴落

二十八錢と暴落

二十錢丁度

仁川米豆取引所

八日の六月限

白米標準値

小賣白米 二十六圓八十錢

一等白米 二十七錢五厘

二等白米 二十七錢

田中金兵衞商店 仁川米豆取引所仲買人

大五仲買店 仁川米豆取引所 店主 猪飼政太郎 電話長九〇三番

廣澤正次郎 仁川米豆取引所仲買人 仁川港町二丁目 電話長一六五番

仲買店 仁川米豆取引所仲買人 電話二八二長二八三 電略シ又は（カク）

東京一錢安 兵庫亦二十錢高 成立模樣 下の關は又賣聯合 新規買に人氣沸騰 大阪暴落の原因 外米輸入稅撤廢決

大阪期米 八日後場 ▲寄付 十二圓二十一錢 十八錢先三十五錢 ▲先限二十二圓三十錢二十八錢七

八日の六月限

晴一時曇

入港新羅丸上陸一二等客

◉西伯利亞の奇現象（一）

西伯利亞は先づ地勢と氣候とに依り之を四區に大別するを便とす第一は凍土帶にして第二は森林帶、第三は曠野帶第四は山嶽帶とす

水底まで凍る湖

◆而かも幾億萬年前より夏は忽ちにして極樂世界となる◆

凍土帶は北緯六十五度以北の北氷洋に面する海岸地帶にして地勢極めて低く加ふるに時々暴風起りて北氷洋の海波を吹き揚げ、其の海岸に氷結するを以て多くは水陸の分界不明に歸し湖水の如きは深さ一丈位のものにても水底まで氷結し大小の河流は先づ河口凍り初めて上流より下流する泥混りの水は忽ち氷上に溢れて氷結し斯くて泥混の氷は漸く堆積して大なる氷山を形成す此

氷山は普通にて

◆一丈二三尺位に達する例◆

とせる春季に至れば上流より氷塊の流れ來るに連れて之と合し氷岸の間を流下し去る此氷塊中には時に前世界の動物の遺骨を交へ居るものあり北氷洋の海岸は幾億年の間凍り居たるを以て地下六七百尺の邊迄は土地全く凍了し夏季には此凍土の外面融けて澤となり一望千里際涯なく之に野苔、紅蓼、盆子、紅莓苔等生育し沙丘なども諸所に出現して茲に

幾十百萬の水禽

◆飛來りて囂々たる鳴音を◆

弄し夏の長き日を樂む旅客若し此處に來りて沙丘に登り試みに眼を放てば河も湖も沼も總て鴨、雉鳥、鵝鴨、雁等の群を以て滿され遂に水色を辨せざる可し若し夫れ其間に馴鹿の來りて野苔を食ひつゝ悠々として遊べるの狀に至つては寔に極樂世界の觀なくんばあらず然れども時に白熊、熊若くは狼等の如き猛獸襲來して水禽馴鹿等を爪牙に掛け流石の極樂世界も一時無間地獄と化する事あり之さへなくば凍土帶の夏は實に世界無比の極樂世界と謂ふ可し殊に斯る愉快の極樂世界も其時期

甚だ短かくして

◆八月に入れば既に凛冽の◆

寒氣既に侵入し鵝、雁、馴鹿は去つて跡なく九、十、十一月と冬季に近づくに隨ひ雪は霏々として原野を埋め四方暗々として一物の目を遮るものなく寒に入りて四十日を經れば溫度は氷點下四十五度に下り土地も巖石も寒氣の爲に裂くる程の酷寒を呈すべしと

◉晝夜兼行にて

◆工程を急げる製紙會社◆

資本金五百萬圓を以て昨年創立を見たる在新義州朝鮮製紙會社現今の狀況を聞くに元來同社は製紙會社とは云ふもの丶主としてパルプ製造を以て主眼とし製紙は事業の進行に伴ひ或は決行するに至るやも知れずと爲めに目下の諸事業は全部パルプ製造用工事のみなるが何分大工事の事とて本年建築時期中に竣成を見るや否やさへ疑問なる上徒の山東苦力はペストの關係上檢疫の嚴重なる爲め例年に比し渡來者極めて僅少なるを以て一般勞働者の不足を喞つ有樣なれば呼人勞働者の如きは從來の習慣上よりするもの丶勞力不足の結果は茲に異常の勞銀昂騰を唱ふるに至り一日六十錢を得ざれば應ぜずと稱して勞働者の蒐集に困難を感じ旁々事業の進捗意の如くならざる模樣なるも明年度より是非共作業開始の豫定なれば本年中には豫定の工事を竣成せしめんと來る十五日頃より晝夜兼行にて工事を急ぐことに決し目下工場地域全部に亙り電燈の取付け作業中なり（安東）

九州視察團寫眞帖

（別府龜川溫泉濱）

◉蒙古の石綿

◆住宅問題と石綿の價値◆
◆防火にも保溫其他にも有効◆

從來の家屋は其の構造が不完全であるといふ事に就て近頃大分住宅問題が八釜しくなつたやうです、而して家屋の耐火といふ事に就ては無論鐵骨とかコンクリートとかは好い事には極まつて居りますが何分費用の點で一般に用ふる事が能きぬのは殘念であります、所が

壁の中へ石綿を

◆塗込むと延燒を防ぐ事が◆

できるといふので近來此の石綿の研究が大分方々で初まつた樣であります、石綿は單に壁ばかりでなく衣類にも又た電氣の絶縁物にも瓦斯ストーブ其他化學用に供せられ殊に防火保溫になくてはならぬものでありますから益々此の研究が盛んになる譯でありませう一體

石綿は何んな物

◆かといふに角閃石鑛物◆

の分離したもので支那では蒙古錦州産のものが品質も好く且つ多量に産するとの事です、内地では長崎縣西彼杵郡蚊燒村の石綿が最も有名で次は左の如くであります

熊本縣下益城郡豐福村、埼玉縣秩父郡倉尾村、靜岡縣志太郡大長村、群馬縣北甘樂郡秋畑村等

又た外國では加奈陀及び南亞米利加並に南阿弗利加のケープタウン邊、其他ニューカレドニアからも優良品が出るとの事です

◉建築界賑ふ

奉天に於ける本年の建築界は昨今愈よ活氣を呈し瑞昌公司支店正隆銀行、瀋陽館の增築等は既に數日前より起工に著手し是等建築の材料を運搬する荷馬車の市中を往來するもの漸次增加せり尚又奉天の大工事と目せらる驛前の滿鐵事務所改築工事は近々愈々著手さるべく又地方事務所西側の空地に新築さるべき大竹氏の經營にかゝる大丸旅館の大工事等相次ぎて起工の筈にて奉天の建築界は益々盛況を呈するに至るべしと（奉天）

◉魚は未だ高い

◆茲二十日もすれば安い魚が食べられる樣になる◆

仁川近海に於ける漁況は依然として閑散釜山方面より依託入荷するものの亦内地の高値に引張られて鮮内へ輸入せらるゝもの至つて尠なく之等の原因に依つて久しく魚の價が高かつたがまだ其原因を脫せず依然として魚は高い三月中に於ける

仁川附近

の漁況は先づ僅かに鰈、鯒を主として大甯及び燕積島附近に鰐、鯛の漁獲物がある位ゐで大したものがない但し鯛漁は例年に比すると幾分好漁であつたが之が爲め市價に影響するなどの好漁では勿論ない前月の水揚高は日本船七隻で四百八十五圓和鮮船三十四隻で五百六十七圓と云ふ位ゐに過ぎぬ

◆頗る閑散

なものであつた試みに最近の漁價不均額を擧げてみると一番高いのは矢張り鯛で百目先ず八十錢ヒラメ六十五錢鮑四十五錢海鰻二十三錢海老五十錢鯖五十錢章魚十五錢鮹四十五錢鰆二十一錢鯖十三錢鰯二十錢等でまだなか〳〵魚食ひが喜ぶ時季にならぬ之から愈々暖かくなつて本月も中旬を過ぎる頃になると盛漁期に入るので從つて魚價は漸次低下するだらう（仁川）

◉仁川と檢穀

仁川米豆檢査所に於て三月中の檢査取扱ひ數量は中白米二百三十叺玄米一萬三千百十四叺大豆一萬二千七百五十五叺なるが玄米の成績は二等二千二十六三等一萬五千七十三不合格五百十五を算し大豆一等二等二百四十六三等一萬二千四百八十七不合格十七を算せり而して之が生産地別を擧ぐれば玄米仁川六千八百平澤六百九十二水原四百二十二忠清南道三千六百九、黃海道百八十七西井里十四振威郡八十七古邑七十其他の京畿道内一千二百四十三大豆黃海道一萬二百七十六忠清南道二千百二十九長湍二百三十三水原五十九仁川五十三江原道五叺等なり尙ほ其の仕向地は玄米大阪一萬二千四百四十五神戸百五十四大豆大阪一萬二千六百三十八長崎及び神戸各五十叺を算す

◉新義州の上水道

◆豫算の不足を如何するか◆

新義州に於ける上水道敷設工事は既定の事實たるが愈々本年度より市民約壹萬參千を限度とする程度の上水道を敷設すべく昨年四月の設計し水源地は鴨江上流の某地に選定し其れより木管を以て現停車場附近に導き同地點より鐵管にて市内全部に給水すべく市内にては此の際工費の都合上個人用引込線を減少し供用栓を增加し更らに二三箇所に火災用豫防栓を設くべき工費約十七萬を豫定せし處爾來物價の昂騰特に鐵類騰貴の結果は該豫算にては到底工事を遂行する能はず其の不足額は驚くなかれ約十二萬圓といへる莫大なるものとなり居れるを以て府當局に於ては市民の衞生上より將た又其の他の點より本計畫は此の際一日も延期を許さゞるを以て豫算不足額中半額は國庫の補助に仰ぎ其れに幾分の地方費補助を加へ更らに豫定二年計畫を三年に延長し是非共決行せんとの意氣込みなるが一面市民の負擔力にも限度ある事とて當局の苦心尠少ならざるものあれば新義州上水道計畫は本年度より決行さるゝ趣に於ては何等疑問を挾む餘地なしと雖も其の經費支出方法に關しては尙ほ多少の變改を見るやも計られずと（新義州）

◉鴨綠江に鮮滿の別なし

◆鐵道も幣制も總て統一◆

新義州は朝鮮で安東縣は滿洲だと云へば新安兩地は大に隔絶し何等の關係交渉を持たぬ樣に思はれ又鴨綠江は鮮滿の境界を劃する一大江流であると云へば如何にも境界の樣に思はれるが是れも

◆思ひ樣一つで◆

鴨綠江は安東の鴨綠江で而かも新義州の鴨綠江である此の兩者を繫ぎ兩者共有の江流であると思へば又新安兩地は極めて密接な關係があると云ふ事が首肯される、然り新安東兩地は一は右岸、一は左岸にあつて國を異にし態度を異にしてるとは云へ切つても切れぬ極めて親密な交渉のあるものと見ねばなるまい。殊に我が帝國の勢力が漸次北進したる今日兩地の立脚地や歴史を異にしてるからと云つて直ちに個々別々の考へを持つと云ふ事は決して褒めた話ではない、況んや鮮滿鐵道の經營とか幣制の統一等があつて

◆經濟的の統一◆

は著々として進んだ今日お互ひに鴨綠江によつて其の生命を保持し其の光彩を放つてゐる兩地としては既に全然總ての事が統一されたものと見ねばならぬ。それを殊更らに朝鮮と滿洲とか俺は何處までも俺、彼は何處までも彼と云ふ樣な態度はお互に矯正してソンな水臭い事は言ひたくないものである否將來は是非共一ツに歸するものであると云ふ豫想、イヤ一ツにならなければならぬと云ふ前提の下に諸般の計畫施設を進めて行き成べく利害關係を一致せしめ

◆統一の出來る◆

方針の下に進みたいものである例へば兩者有無相通じ相互に隔意なき諒解の下に相互の發展に貢獻したいものである。それに就いて記者は多少氣の付いたことを申上げる。本年早々より新義州では公會堂建設が叫び出され其の建築費も有志より醵出され今や建築を見る計りになつてゐるが只其の設計に多少變更改訂を要する爲め工事に著手されずにあるが由來公會堂と云ふものは如何なる性質のものであるか位は頭に入れて置く必要があらうと思ふ、記者は敢て其の建築にケチを付けるのでもないが一體近頃公會堂とイヤに

◆公會堂の熱が◆

何處も此處にも高いがそれも新開地として多くは其地の設備が完全せぬからでもあらうが餘り公會堂熱に浮かされると後悔堂になりはせぬかと思ふ、殷鑑遠からず安東縣などでもヤレ陳列館だ公會堂だと騒いだ結果は如何でムる本年の民團豫算の如きも數字を並べた處を見ると八萬何千圓…それが離に引き牛蒡に引かれた結果漸く自由になるのが二萬七八千圓其の内役所費の一萬二千圓を減ずれば正味僅に一萬六七千圓此の位の端た金で何が出來る…餘りに玄關を張り過ぎた結果は

◆臺所が寂しく◆

なる殊に朝鮮は早や一般に組織的になり秩序的になりマサカ灰吹から龍が飛び出す樣な事は思ひ掛けない事此の際愼重なる考慮を加へて將來如何なる事があつても玄關の爲めに臺所に影響せぬだけの研究と而かも折角建設した公共の營造物たる公會堂も無駄な遊び物にせず有利に使用が出來る樣な方法を考量するの要があると思ふ（四方八方子 安東縣にて）

台所 その日〳〵

◆はうれんさう◆

▲浸物 菠薐草のひたしもの、簡單なことですがよく洗ひさつと茹でゝ三回水をかへてひたし元をそろへざつとしぼり五六分ぐらゐの長さに切り生醬油にひたし花がつをかけて食べます

▲醬油には味淋を加へれば一層妙です

▲菠薐草と玉子の汁 玉子を半熟にして二つ切りにし一切れづゝ椀に入れ茹でた菠薐草とトロ〳〵昆布とを玉子の側に添へ普通の澄し汁を煮たてゝおいて熱いところを椀に注ぎこむのであります

此頃の眼の病 腦の病

◉此頃の眼の病 是から花見時と言つて陽氣の所爲でのぼせ眼を患ふ人が多い。それから星目、角膜（俗に黑目の中へ出る星）麥粒腫（俗にものもらひ）などと言つて黑目の周圍が鱗のやうになり、それが因で角膜軟化といつて黑目が溶けるやうになつて眼のつぶれる事のある病、木の枝や草の葉で一寸刺したのが因で大事になるつき目それから誰も知るトラホーム。慢陰目の病が今一番多い

◉眼の養生 凡べて眼は一寸した事が因で大事になる、世に物の見ねない程情ない事は無い。だから少しでも悪いと思つたら直ぐ手當をせねばならぬ。それには直治水といふ目藥が健腦丸本舖として有名な丹平商會の製藥場の藥學者の研究で製造賣されてゐる。直治水には他の眼藥で見られぬ三大特長がある。第一現代醫學の最高知識を活用した眼科高貴新藥を原藥としてある事、第二タッター瓶で其効驗が見ゐる事、第三根本的に視力を强くする作用ある事、で其上藥瓶や點眼器にも十分の殺菌消毒裝置を施してあるから、日が經つても藥効が減ずる事がなく、變敗する惧もないから非常に安全である。

◉此頃の腦の病 此頃はまた腦にも悪い時である。逆上せるから頭痛、眩暈、便秘などいふ故障が起り、腦神經衰弱やヒステリーの人などは餘計に病が悪くなる、斯ういふ時には何は措いても健腦丸は用ひる必要がある。

◉眼と腦との關係 眼の悪いといふ事も矢張腦に重大な關係がある。ある醫學博士の實驗のお話で、眼が悪いのを治した爲に腦神經が良くなつた例を擧げて居られる。然れば眼が悪い今の時季は腦にも悪い。故に腦を大事にする人は同時に眼を大切にせねばならぬ。

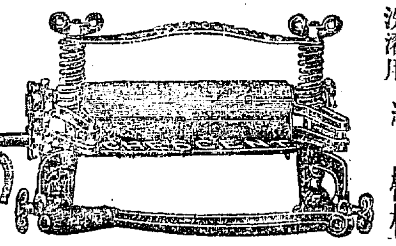
◉眼と腦との養生 島村醫學博士が有効を證明された健腦丸の腦神經ヒステリー等に對する偉効は既に世人の洽く知られる所である。常に頭腦を使ふ人、酒好の人、頭痛持、便秘性、逆上性きで、それから此の際是非健腦丸を用ふべき人々は、同時に平生目を多く使ふ人、夜更しする人、目が霞み又は目が疲れるやうな人は、たとへ眼病といふ程でなくとも、此の目の爲に一番よい新しく出來た目藥直治水を一日一回宛使ふ樣にしてゐれば、目の爲腦の爲これ程安心な事は無いのである。

▲健腦丸の定價は半週分三十錢から十週分五圓迄種々ある 直治水は十錢廿錢各藥店にて販賣してある

上等實用 鉛筆 破格安賣
一本小賣三錢以上の品各種取合せ 八百本四圓 同三圓半 同二圓
送料共 代金引換大川錢小廿錢一圓土外拾錢增 送料荷造等を除けば一本僅三厘
强品質優良確實實用に適せざるもの一本もなし官衙學校組合小賣行商景品等に絶好品大至急御注文あれ
東京北千住中組百十六 壽商會

解雇廣告
店名 又七 善七
右兩名は都合により解雇致候間自今當店に何等關係無之候也
大正七年四月八日
夏川京城支店

染物用 洗濯用 絞り機械



神戸市兵庫町川崎 網市商店

京城口齒科は
本町二丁目江戸川横 岡本齒科醫院

衞生無害消毒劑 天下無比
登録商標 キレー
大正記念博覧會 産業品博覽會 東京 金牌賞 一等賞 進步賞 名譽金賞 有功金牌 等受賞

白檀油代用藥 ゴノサルビン
優秀卓絶價格低廉
白檀油大暴騰
效果的確にして消化器障碍なく純内國産なれば價格從て低廉也
大阪市外中津町光立寺 發賣元 三友製藥合名會社
大阪道修町 武田長兵衞
東京本町 小西新兵衞
文獻見本醫家に限り本社より進呈

◎開業廣告◎
拜啓益々御多祥奉慶賀候陳者今般其筋の認可を得て來る拾貳日より株式會社仁川米豆取引所仲買人營業仕候に就ては誠意懇切を旨とし御取扱可申上候間何卒御引立の上多少に不拘御用命の程奉希上候 敬具
大正七年四月八日
株式會社仁川米豆取引所仲買人
淺野太三郎
仁川海岸町 電話長二二〇番 四〇四番 電略（ア）又ハ（カ子タ）

◎コークス 一手販賣
京城電氣株式會社製
地方御注文の節は迅速御送附申上候
京城旭町一丁目（電話一三三五番） 石炭商 横山
京城旭町一丁目（電話九八四番） 薪炭商 戸澤商店

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗 サクラ正宗

京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話 四八一番 九四五番 電略京城五七番

内科 小兒科 呼吸器病 胃腸病喘息 リユマチス
京城本町二丁目四十五番地電話二八八〇番
山田病院 院主 山田萬作

春夏向新製品發賣 赤帽印「滑」ネクタイ
益々大好評を以て歡迎せられつゝあり
赤帽印ネクタイ發賣元 東京 大阪 南文藏

桐苗、桐根苗、ニセアカシヤ苗
牡丹、芍藥、草花種子苗、庭木各種
山林苗、果樹苗、其他盆栽植物一切各種共大安販賣
仁川 梠峴 北垣華王園

▲八日後場 大阪引止め高く後寄未著にて中二錢八錢九錢平均値段十八錢三節十

仁川米豆取引所

◉連絡船上陸客 七日午前 ……たま子、豐田秀雄、井上直彌、千賀きみ、千賀……鶴彦、永井兵吉、早川榮太郎、山内毅……野田久次郎、山本寅、同初枝、朴鐘夏、松原……

懸賞 川柳（題「古いものは」）（題「火事とかけて」） 十二日 十三日 十四日 十五日
●但何號と明記に限る ▲宛名は京城日報編輯局懸賞文藝係

塚原卜傳

第三十九席　悟道軒圓玉口演

小太郎此老人が五十間位飛ぶのは樂だと聞いて舌を捲いて驚ろいた　小『大したものでございますな、前後左右にも飛べませうか……』　山『左樣さ本當に飛べるやうになると前へ二十間、左右へ十五間、後ろへ十間としてあるが元來天狗は上へ飛ぶものだから上へ昇るのは二十間でも三十間でも其者の行次第で何うでもなる、之れは仙術だから武藝とは自から違ふ其積りで修業しな　小『有難う存じます』小太郎大に喜こんで之れから花隈の城内に足を止めて山城守に隨って一生懸命に修業いたします三百日の行といっては實に死ぬにも勝る苦みですが、武術熱心な小太郎捨身の覺悟で勉强する、其上達は山城守殿も驚くばかり、光陰流矢の如く早此城内に來て一年餘經って永祿七年九月と成りました、此頃ではスッカリ天狗昇飛切りの妙術を覺へ、上へ三十間左右へ十五間づゝ後ろへ二十間飛べるやうになった、殊に後ろへ二十間飛ぶのは山城守にも勝さるといって感歎した、小太郎其喜こびは譬ふるに物なく、猶其外山城守に就いて天文地理奇陰兩道及び易學相學軍書兵書に至るまで天下有りとある書籍に目を晒して其蘊奥を究めましたから實に大したもの師山城守も恐らく當時小太郎の上に立つ者はあるまいといはれた、所が同年の九月十日山城守が　山『鳥渡小太郎此方へ來な　小『ハッ』小太郎何心なく傍へ行くと山城守殿ジッと小太郎の顏を見て居りましたが　山『天庭に曇りを帶び眼の中濁り瞳定まらず、人中に黑色の氣を帶びたるは不祥の變災身に迫る相、何か御邊の身に大事が起るに相違ないが、夢見が惡るいとか何とか心に思ひ當る事はないか』問はれて　小『先生のお尋ねでございますから申上げます、實は昨夜まで續けて三晩忌はしい夢を見ましてございます、夢は五臟の勞れ取るに足らぬ事大人氣なく申上げるも如何と存じて差控へ居りました』　山『さうであらう、何ういふ夢を見た』　小『へ〜』と二言三言呼びますハッといたし目覺むれば南柯の一夢、汝の父土佐守全身血に塗れ憤怒の形相を致し刀を杖に小太郎殘念であると……次の晩も同じく父土佐守此度は兄帶刀も同じく血に染んだ姿にて立顯はれ、私を呼起しまする、其次の夜も同じく〜三晩續けて見ましてございまするが實に不思議に存じ、密に心を痛め居りました次第』　山『それぞ正しく凶夢である、何か親族の身に災害があったに違ひない、まて〜私が易を立って見て遣はす』易學の極致まで究め盡した山城守、沐浴齋戒して卦を置いて久時考へて居りましたが　山『小太郎之れは大變だ、國表に於て一大事が出來致したぞ　小『左樣でございますか、其れでは正しく夢の告げ　山『先づ火山旅の四爻といふ卦を得た、火山旅の四爻といふのは離かしい卦としてある、易に鳥燒巣獸、極、哀、生といふ、巣を燒くは即ち家を滅ぼすといふ事になる、其上火は離であるから、別離といふ意味を含んで居るな、火は君に象り家にすれば父となる、父土佐守何者かに討たれ、其住所は惡人の毒手に陷ちいって汝の一家は滅亡したと判斷するが何うだ』小太郎愁ろいた大變な卦が出たと思って　小『然らば父や兄は此世の者ではございませんか　山『先づ自殺をしたものと思ふ、隨って汝の身にも災害が來る、併し爰に旅小亭とあるから國表へ引返すには大した災もあるまいが、決して油斷してはならん、火山といって火の山に行くといふ心持ちで八方に心を配り、一日も早く國表へ引返して父兄の仇を報せよ』と山城守の活斷小太郎大に驚き直ちに國表へ引返す、途中に於て海賊を斬り或は石牢に囚はれるなど悲壯にして痛快なる物語に此より引移ります

京都　たまや出張店　本町一丁目　電話二一九六　京染　吳服

暦

四月十日　九星　舊二月廿九日丁亥　本命九紫　南成赤口

▲九紫●逆拔に祭る事は[illegible]　▲一白●捉へ所なき事[illegible]　▲二黑●大[illegible]　▲三碧●[illegible]　▲四綠●[illegible]　▲五黃●[illegible]　▲六白●[illegible]　▲七赤●[illegible]　▲八白●[illegible]

演藝案内

京城壽町　電話五七八番　壽座
四月八日午後五時より開演第三回替り狂言
連鎖飛行家の妻　二十二場
新作喜劇育ての恩　三場
喜劇和田合戰女舞鶴　壹幕
新喜劇心機一轉　二場
[illegible]

櫻井町　電話八七三番　大正館
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
常設四月五日より大寫眞大余興
○ハイチレス山
△米國ミサチアール會社作品
○滑稽之大王チャップリン伯爵
○新派活悲劇「さんざ時雨」全三卷
△山本[illegible]
○探偵活劇「四百十三號」全三卷
▲舊劇「荒五郎茂兵衛」全四卷
[illegible]

京城本町　電話一〇五〇番　壽館
常設四月八日九日兩日
▲山村温習會　▲新柳　▲鶴龜　▲三番叟　▲藪入娘　▲三國一　▲老松　▲後藤　▲文屋　▲扇　▲觀猿　▲四季　三番叟
[illegible]

早川演藝部直營　活動寫眞常設館　有樂館
電話（階上）五九七番（階下）二〇五番
[illegible]

明治町二丁目　電話二六〇番　浪花館
四月三日より開演
東京浪花節幹事　桃中軒如風　吉川小善次
[illegible]

大好評の餘興　英國軒ハレー　愈々十一日限り　日延べなし　大正館

黃金館　電話二三六三七・六六
[illegible]

りん病　消渇　困る方で切手を　三錢送れ自宅で秘密に治す妙藥を人助けに無代でお救へ致し升　名古屋市南かじや町　武藤鎰吉

しんぞう病　困難の方は弊家秘法に永年服藥の良藥を頒す　入用の方詳細申す　[illegible]

たんせきの良藥　セネドミン　[illegible]

子寶なき婦人と
子宮病者の「命の母」
子宮病とはどんな病か？　知らずに病んでる人がある
命の母とはどんな藥か？　治癒姙娠の實例が澤山ある

子宮は子供の宮殿とも稱へらるゝ位大切な箇所で一面から申せば婦人の眞價は子宮の完全にあるとも云ひ得る事も出來ますが其の大切な子宮は種々なる原因から多樣な病氣に冒され御婦人三人寄れば必ず其の中の一人位は此のいまはしき子宮病に罹ってゐる、婦人病中子宮病ほど執拗くそして恐ろしいものはなく若し本病に取り付かれるとまづ女としての生命は半分位は縮められたと同樣の結果に陷りますされば已に本病に罹ってゐる人の容態氣分はどんな工合か並に皆樣の爲に其大要の研究を致して見ますと子宮内膜炎、子宮外膜炎、子宮頸管カタル、子宮實質炎、子宮筋腫、子宮癌、膣炎其他種々ありますが其中で一番多いのが子宮内膜炎で此に急性と慢性とあり急性は初め下腹が痛み續いて熱を發しコシケが下って來るのですこれは普通月經の二三日して起り主として男子の痳病を受けて起るのが多く稀に月經の取扱ひが惡い爲めに起ることもあります慢性とは急性の手當を怠った爲めに一層危險な態に立至ったものでコシケは勿論の事頭痛、眩暈、腰痛み又は冷え消化不良、氣鬱ぎ其他種々なる症狀を呈し更に之が進んで來ると附屬器管の病氣となり子宮の外膜にも達し非常な激痛を來し耐へきれないで其都度醫師の注射を受けねばならぬ樣になり之が昂じて遂には子宮の實質を冒し喇叭管を冒し又は卵巣を冒すと云ふ風になり遂には惡性と云ふ頑固な子宮實質炎、喇叭管炎、卵巣炎等になり如何しても子供が出來ない即ち女として最も不幸な不姙症となるのであります是の如く病勢の募ったものは勿論の事氣が付き次第成可く早く手當をせねばなりません初め此の病の起りは耳鳴り差込み、息切れ、物案じ、食慾不進、不眠症、頭痛、惡寒、逆上、肩凝り、月經不順等の前兆がありますから不斷からよく〜注意して此等の徴候が一つでもありましたら直ちに手當てを加へねば前申す樣に後から取り返しの付かぬ大變な事になりますそして何よりも可愛い子寶の出來ないのは皆この子宮病の爲めであって一家の悲慘は勿論國家のかくては一大問題であります何にしろ子宮病は極めて頑固な難治の病でありますから現代最も進歩せりと稱せらるゝ洋藥でさへも本病に對しては能く其の効を奏する譯には行かぬとの事であります然るに茲に多年の刻苦研究と絶大の努力とに依って遂に發見されたる「命の母」は實に過去に於て幾多の婦人病を救濟して偉大の奇効を奏してゐるので今や藥物界の奇蹟とまで稱せられてゐますが、これ全く奇蹟にあらずして子宮病を治する力があるので彼の有名な下山藥學博士を初め醫學博士、藥學博士等より極力稱讚推奬せられ立派なる證明をして居られる一等藥として大なる信用を以て人氣を一身に集め他の種々なる藥の上に斷然覇王の位置を占めてゐるのであります故に「命の母」は其の價も第一等で需用到る處の藥店に行き渡って居る

主治効能　[illegible]
定價　[illegible]

婦人病自宅療法
斯の如く婦人病は最も怖るべき病氣であります一身を誤らせ一命をも奪ひまする病氣でありますから前に申しました兆候の中一つでも思ひ當る人は一刻も早く相當の手當をせねばなりませんそこで最も安心なる家庭療法として婦人病者の爲に書かれた『婦人病者の心得』と云ふ本を一讀して其通り實行するのが最も確實であります[illegible]

中山太陽堂經營

中山化學研究所　完成品發賣

醸造用純良50%乳酸
當工業所精製乳酸は無色透明にして脂肪酸の臭氣なく夾雜物を含まず、大藏省醸造試驗所數次の試驗の結果は最優良品として推奬せられ完全に且つ容易に芳醇なる清酒を醸造する事を得る上に於て無比の特効を有す

乳酸カルシウム
本劑は健康増進に偉大なる効果あり喘息、結核、リウマチス、神經衰弱症、ヒステリー、消化不良、佝僂病、分娩前後の婦人は勿論無病の者も健康を増進するを得る等諸症に應用して効果顯著なり殊に本研究所にて完成したる逸品なれば毫も夾雜物を含まざる純良品なり、近時カルシウム療法の提稱せらるゝに及び本劑最も歡迎せらる

乳酸マグネシウム
本劑は主として便秘症に用ひて、著しく効果あり副作用なく白色の結晶粉末なれば婦人少兒と雖も快く服用するを得べし

過硼酸曹達

過酸化硼砂
是等二劑は有効酸素に富める粉末劑にして殺菌力及び消毒力共に强く而も任意の形態に使用し得べく効果殊に顯著なり

フェナセチン
本劑は主に解熱藥として用ひ其効果確實にして眠ふべき副作用なし

工業用過酸化水素水
本劑は工業及び美術品の漂白に用ひ特効夥し

醫療用過酸化水素水
本劑は消毒制腐の目的に供用せられ絶對無害且つ防腐力の强大なる事他の藥品の企及し能はざる所にして之を家庭藥として用ひられ尚ほ齒牙を強め、化粧用として卓効あり

精製獸炭
本品は醫療用藥品化學品等の精製に際し粗品の脱色上缺くべからざる必要品なるに不拘現時其優良品の得難きを憂へ特に本所に於て研究精製したる逸品なり

過酸化マグネシウム
本品は緩下劑として特効あり尚ほ萎黄病、貧血、僂麻質斯、痛風等に内用し、外用として軟膏を調製し消毒、殺菌、化膿豫防等に供用す

過酸化バリウム
本品は多量の有効酸素を含有し過酸化水素の製造に供せらる、又漂白劑及び殺菌劑として賞用せらる

鹽化バリウム
本品は鹽酸加里の製造に應用すれば原料なる鹽化加里中に不純物として多量に含有さるゝ硫酸根を除去すると同時に鹽分を增加し鹽酸加里の製産能率を高むるを以て斯業にありては不可欠ものなり、其他煙火製造に多量に使用せらる

無水醋酸
本品はアミーン鹽基等の醋酸附加作用に多量に供用する等有機化學品合成上の必要藥品なる而已ならず纖維工業其他に於て特殊の溶劑として賞用せらるゝ事少しとせず

中山化學工業所
大阪市南區水崎町六百九十番地
電話長南六六參番

御化粧の順序　クラブ洗粉　クラブクリーム　クラブ白粉　クラブ頬紅　クラブ粉白粉　美人

魚釣具及網卸小賣　投網カスミ網各種あり（御申越次第定價表送呈）
京城永樂町貳丁目　吉備商會　電話三一一四番　振替京四三二八番

外科花柳病　内科小兒科　婦人科
宮崎醫院　南山町二丁目池南三〇六八番

專賣特許第三二〇六九號　木材防腐防蟲劑　クームヒン
白蟻、涙菌に特効あり　……說明書御申込次第送付……
京城旭町一丁目　製造發賣元　山田商店　電話一〇七八番　振替三一九六番　龍山電話四二四番

汽車
京釜線（南行）[illegible]
同（北行）[illegible]
湖南線（南行）[illegible]
同（北行）[illegible]
京義線（北行）[illegible]
同（南行）[illegible]
京仁線（仁川行）[illegible]
京元線（北行）[illegible]
同（南行）[illegible]

第三千七百八十七號（一）　THE KEIJO NIPPO　大正七年四月九日

京城日報　第五版　四月九日朝刊（夕刊併せて八頁）

遊支偶録

蘇峰生

（三）日支何れが同化力強き乎

今假りに日本人を、支那に在らしむると、支那人を、日本に在らしむるとで、何れがより多く支那化し、日本化す可き乎。必らずしも一概に論定するは難かる可し。されど公平に觀察すれば、支那人が日本化するよりも、日本人が支那化する方、多かる可く推定せらるゝ也。單り日本人のみならず、歐米人と雖も、恐らくは然る可しと思はるゝ也。是れ何故に然る乎、蓋し支那の文明は、其の物質上の愉快、及び便宜に於て、何となく人を引き附け、吸ひ込むが如き力あるを以て也。

今ま手近く飲食に就て云はん乎、支那に住する日本人にして、其の十中の八九迄は、純粹若しくは折衷の支那料理を、常食とせざるものなき也。而して支那料理屋の繁昌は、紐育、巴里にては、目覺ましきものにて、然も其の顧客の一半は、支那以外の人種たり。乃ち支那料理は、殆ど世界を席捲しつゝありと云ふも、過當ならざる可し。若し單に此れにのみ限ると思ふ者あらば、そは大なる間違ならむ。何人も之に接觸する久しからん乎、自から支那化し、支那人化するを、禁ずる能はざる可し。蓋し支那文明は、無意識の裡に、他を催眠術に誘ふ的の魔力を有す。人若し支那が武力的に、不能者たるが爲めに、總ての點に不能者視せんとせば、是れ實に大なる油斷也。彼等は武力的に短所を有する丈、それ丈の長所を、他の方面に有する也。吾人は日支親善を、中心より希望す。されど其の結果若し日本が、漸次支那化するが如きあらん乎。其の得失に至りては、深甚の考慮を廻らさゞるを得ず。蒙古人、滿洲人、皆な武力に勝て、文明に併呑せられたり。此の同化力や、今日と雖も決して侮る可らざる也。

再び日本を訪問して＝（三）＝

ドクトル　ペリー氏

日米は親善也

予は今より四十年前、友人の斡旋にて神戸監獄を視察したる事あり、當時の監獄は實に言語に絶したる哀れなる狀態を呈し教育の機關作業の設備は勿論甚だしきは老幼の區別さへなく、唯だ一時歐米にも存在せしが如き誤れる思想即ち

△極端なる刑罰主義に傾き居たるなり、其後文化の進歩發達に伴ひ監獄制度又改正せられ今日に於ては既に感化主義遷善主義の立派なるものとなり從つて囚人取扱ひの方針も亦大いに寛大となりしが之取りも直さず基督の教へに副ふものにして人類の幸福の爲め洵に慶賀に堪へざる所なり、予は之につきて圖らずも想起したる最も喜ぶべき事例を語らざるべからず、开は予の出發前オクラハマ州知事ウィリアムが一の布告を發したる事之なり布告の内容は予（州知事）は聖誕祭の日より翌年一月二日迄州内の一般囚人を放免す爾等は此期間に於て歸郷し自由に且つ愉快に暮らすべし、但し一月二日には如何なる事情あるにせよ再び監獄に復歸して之迄犯したる罪を贖はざるべからずと云ふに在り、實に思ひ切つたる英斷にして予は知事の大膽に驚くと共に又幾多の憐れむべき囚人の爲め天來の福音として卓を叩いて之を慶賀せざるを得ざりき、予は此布告の發布後間もなく日本に向つて出發したるが其結果を知らんと欲するの念慮に堪へず、オクラハマ州知事に對して希望を陳じ日本の方へ返書を送られ度き旨依賴し置きたるに此程予は其の返書に接したり、之に依れば其結果は

△豫期に違はず　非常に良好にして彼等は歸省中何等の不都合を働かざりしのみならず豫定の一月二日には脫走者は勿論一名の遲刻者すらなく全部歸獄したりとあり、予は此の報告に接し衷心より愉快の念に堪へず、今直ちに此方針を他の監獄に迄及ぼして同じく良好なる結果を齎すや否やは問題なるも尠なくも今後の監獄はオクラハマ州知事の心を以て心とせざるべからざるを信ずるもの也

英米に於ける製鐵業の趨勢（六）

之れを一九一六年十月の一日十一萬三千噸の産出額なりしに比し甚だしき懸隔なりと謂ふべし然れども直に之を以て鐵に對する需要の減少したるものと速了するを得ず、蓋し一面に於ては建築用鋼材の高價、製板工場に於ける引渡の不確實、鐵道に於ける運輸の停滯、勞働者の不足、高價なる賃銀、建築以上の有利なる投資事業の存在、戰爭の爲政府若は州、市等の賦課すべき税金の未定、米國政府の莫大なる戰費等之が主なる原因をなし一九一七年の夏季には各都市に於て多數の鐵を要する官廳、倉庫其の他の建築を見合はしたる結果建築用材の需要は僅に例年の四割乃至四割五分に止り其の他鐵道敷設工事の見合はせ等ありたりと雖も又一面に於ては諸製造會社の『マリーランド』『ペンシルヴアニヤ』紐育『オハイオ』『インヂヤナ』『イリノイス』諸州の建築用材製造所に對して爲したる其の工場擴張に要する鐵材の註文決して尠少に非ず而も之を以て『バルチモーア』より『ポートランド』に至る大西洋沿岸諸州の各工業中心地より更に中西部の工業中心地に至るまで雨下したる軍需品の註文の大なるには比すべからざるのみならず之より一層重要なるは造船所よりの註文是なり

過去十八箇月間に於ける造船所の註文を分て四種と爲すことを得べし第一は大西洋（『ニューポート』より『ボストン』に至る）太平洋岸並に『グレート、レーキ』沿岸の各造船所が米國政府の爲に建造しつゝある諸種の軍艦に必要なる建造用材の莫大なる註文第二は米國領海及び『グレート、レーキ』の造船所が米國及び其の他の聯合國の爲に製造中なる無數の商船の製造に必要なる材料の註文、第三は加奈陀の太平洋沿岸及びグレート、レーキ並に『セント、ローレンス』河畔に於て製造中の船舶に必要なる板鐵、棒鐵、形鐵の註文、第四は大西洋岸の二十餘市（『ヴアルジニヤ』州の『ニューポート、ニュース』及び『ノーフォーク』より『メーン』州の『バス』に至る）に於て目下設立中の新造船所の建築に要する鋼材の註文是なり

成金の話（四）

渡邊彰

少し話が岐路に入るが全く無關係のことでないに依つて無門關の話をする彼の書に曰く　大道無門　千差有路　透過此關　乾坤獨歩　とある吾々は無門の關よりも寧ろ有門の關を透過することを心掛けねばならぬ大學の卒業者が高等試驗に合格するのは成金の働きを爲すに就て必要なる關門の透過である外國に留學して彼の地に於て將棋の駒の成金に變じたるが如き活動力を具備して躍翔するのも亦成金の列傳に入る一つの方法である商業學校、工業學校を卒業して三井岩崎の如き富豪家の雇傭者に採用せらるゝのも亦成金の列傳に入るべき一の方法である。要するに成金と云ふ詞は決して輕賤的の意味を含めて使用すべきものではないと思ふ吾人一生の中に卓越せる成功者となりて國家社會の爲に他人に優越したる貢獻を爲すのが即ち成金の本質である強ち財力ばかりが成金の基礎と云ふべきものではない各種の有益なる發明者も各種の學者も亦技藝家も概して所期の目的を達したる者は皆成金と謂て差支ない豈に獨り俄か富豪者のみならむやである之を世界の上より見れば英米佛等の友國は西洋の成金國に相違ない又日本は東洋の成金國に相違ないと思ふ何れの國か日本よりも優越する邦國東洋にあらんやとある予が成金の見解の如く決して成金の名稱を嫌ふべきものではない只今世上に成金と指稱せらるゝ人々の行爲に就ては大に尊敬すべからざる點がある此是け成金の性質論とは全く別の問題であると信ずる（完）

九州視察團日程

◎九州週遊團日程

地名 發著	日次	時間	摘要
平壤發	四月十五日	前一時三十五分	西鮮團乘車 朝食（京城）
京城發	同	前八時四十分	京仁團乘車
大田發	同	後十二時三分	湖南團乘車（晝食大田）
大邱發	同	後三時四十三分	茶菓（大邱）
釜山著	同	後七時	夜食三浪津
同發	同	後八時卅分	直ニ乘船 南鮮團乘船
下關著	十六日	前七時卅分	朝食（船中）
門司發	同	前八時三十分	
大里著	同	前八時五十分	麥酒醸造所視察
同發	同	前十一時四十五分	同會社ヨリ饗應アリ
枝光著	同	後十二時十四分	製鐵所見學
八幡發	同	後三時五十九分	
博多著	同	後四時五十一分	指定旅館分宿 自由行動 共進會觀察 協贊會歡迎
滯在	十七日		兩公園遊覽 化學館觀察
同	十八日		
博多發	十九日	前八時十三分	
二日市著	同	前九時二分	太宰府參拜
同發	同	前十一時四十五分	晝食（車中）
上熊本著	同	後二時五十六分	本妙寺參拜 水前寺遊覽
熊本發	二十日	後十二時二十分	熊本城見學 官民歡迎會
鹿兒島著	同	後七時九分	茶菓（人吉）
滯在	廿一日		各方面視察 官民歡迎會
鹿兒島發	廿二日	前九時十分	晝食（吉松） 茶菓（八代）
久留米著	同	後六時三十分	博覽會視察 協贊會歡迎
滯在	廿三日		工場及名所舊蹟巡覽
久留米發	廿四日	前七時四十三分	
博多發	同	前八時五十六分	福岡縣人團此列車ニ收容
中津著	同	後二時七分	中津著ヨリ發迄ノ四時間耶馬溪道ヲ臨時馬車ニテ遊覽全途下車羅漢寺參詣
同發	同	後三時三十分	
柿坂著	同	後四時十分	
同發	同	後五時	
中津著	同	後七時	
同發	同	後七時十五分	夜食（中津）
別府著	同	後九時十分	旅館分宿
滯在	廿五日		大分市觀察 官民歡迎會
別府發	廿六日	後二時四十七分	
門司著	同	後五時十九分	山陽ホテル休憩解散
下關發	同	後九時卅分	
釜山著	廿七日	前八時四十分	朝食（船中） 南鮮團解散
同發	同	前十時卅分	晝食（三浪津）
大邱著	同	後一時十六分	茶菓（大邱）
太田著	同	後五時	湖南團解散 夜食（太田）
京城著	同	後九時	京仁團解散
平壤著	廿八日	前四時十六分	西鮮團解散

◆福岡縣人團規定◆

福岡縣人團は一行と共に十六日午後四時五十一分博多驛に著するや其儘解散し宿泊所は自宅、親戚、知友各自任意とし十七十八の兩日福岡滯在中は團體と行動を共にし十九日より全然一行と分袂し廿四日午前八時五十六分博多發列車に本團と再會豐州線の各地を巡覽し歸鮮す

◆大分縣人團規定◆

大分縣人團は福岡縣人と同行程なるも福岡滯在中は宿泊旅館を本團と同一にす十九日朝より自由行動各地里に歸省し更に二十四日午後別府及中津の兩所にて本團と合體し遊覽す

◎福岡大分縣人團日程

△往途

地名 發著	日次	時間	摘要
京城發	四月十五日	前八時四十分	晝食（太田）
釜山著	同	後七時	夜食（三浪津）
同發	同	後八時卅分	
下關著	十六日	前七時卅分	朝食（船中）
門司發	同	前八時卅分	
大里著	同	前八時五十分	麥酒醸造所視察
同發	同	前十一時四十五分	同會社ヨリ饗應アリ
枝光著	同	後十二時十四分	製鐵所見學
八幡發	同	後三時五十九分	
博多著	同	後四時五十一分	福岡縣人團一時解散

△復途

地名 發著	日次	時間	摘要
博多發	四月廿四日	前八時五十六分	福岡縣人團此列車ニ收容
中津著	同	後二時七分	中津著ヨリ發迄ノ四時間耶馬溪道ヲ臨時馬車ニテ遊覽全途下車羅漢寺參詣
同發	同	後二時卅分	
柿坂著	同	後四時十分	
同發	同	後五時	
中津著	同	後七時	
同發	同	後七時十五分	夜食（中津）
別府著	同	後九時十分	旅館分宿

日本一

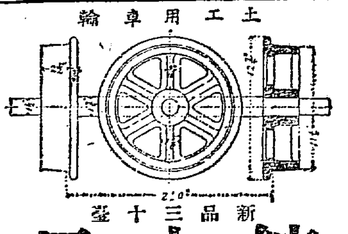
南洋占領諸島の處理……志賀重昂
歷代の外相……文學博士 三宅雪嶺
●回顧八十年……侯爵 大隈重信
●南淵自傳……男爵 澁澤榮一
詩歌英譯……法學博士 和田垣謙三
●大實業家たる秘訣……杉山重義
●實業界の不思議……神長倉主筆
世界的食糧戰……横井博士
大阪陣……福本日南
●お七と吉三……外ヶ濱人
●講談革胴……細川風谷
天馬行空錄……岩崎鏡川
文明の大競爭……石川半山
●政治教育と感情解決……安部磯雄
●高南今昔觀……飯田旗郎
中產階級の危機……鹽澤博士
●西國の混亂を如何……中島端
●精神能率の向上……加藤咄堂
早大新學長豫選（各方面百名の投票）
日本一時事短評……浮田博士

鑛業講習錄

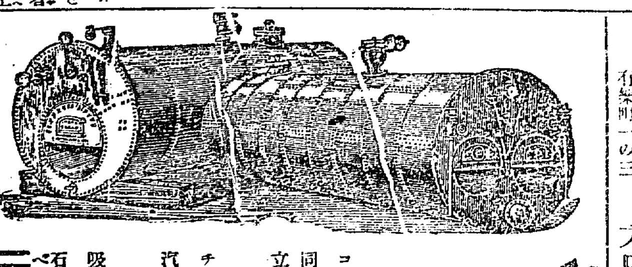
◎鑛業の智識を得んとする者は見よ
新學期開講入學の絕好期
目下入學者には特點あり
本校は●最新式の通信教授を以て鑛業に關する一般的智識を授け又學校卒業生を實地に練習せしめて人物拂底に苦しむ斯界に就職紹介す
●校則は申込次第郵送す但郵券二錢要
京城府漢江通り十一番地 電話四五三番
大日本通信鑛山學校朝鮮支部

支部出張所長數名募集

[illegible]
大日本勸業合資會社



新品三十臺



鑛山用

中根商會
京城岡崎町 製作工場
京城南大門通五 販賣部
中根式旋丙押揚喞筒製作販賣元
虎晉紙印八角鋼朝鮮一手販賣元
電話一〇四番 二五六番

在庫品概略 所在地 中根工場
コールニュシ形 徑五尺 長十二尺（汽壓百封度）
同 徑三尺五寸 長十二尺（汽壓百封度）
立形 汽鑵 徑六尺 高十尺 一（汽壓九十封度）
高七尺 徑三尺一寸
高五尺 徑二尺七寸
チューブボイラ 二
汽鑵 長六尺五寸 徑三尺一寸（汽壓百封度）
吸入瓦斯發動機 三十馬力 二十五馬力 十八馬力
石油發動機 十二馬力 十六馬力
ベルト革車シャフト
瓦斯管 二吋以下
▲在庫品豐富 各種

自轉車は唯ラーヂとケトン

紳士に實用に愛好にも
德体格に裁用にも

特約販賣店
京城南大門通 京城本町 仁川 [illegible]

鬼タイヤ
ケトン自轉車
ラーヂ自轉車

發賣元 日米商店 東京 大阪 臺北 久留米
京城南大門通三 日米商店京城支店

◎我陸戰隊上陸に對し勞兵會の抗議

浦鹽著電に依れば我陸戰隊の浦鹽上陸に對し沿海州一帶の最高行政機關たるハバロフスク係東勞兵會執行委員會及び浦鹽市參事會長より加藤浦鹽派遣艦隊司令官及浦鹽日本總領事館に對し抗議を提出せり、其兩者の抗議理由は第一に被害者に對し叮嚀なる弔詞を述べ第二には犯人逮捕を實行する事、第三には往々外國人の殺害さるゝは文明國に於ても敢て稀なるものに非ず、現に自國人が賊に殺害されたりとの理由のため友邦たる日本が陸戰隊を上陸せしめたるは甚だ了解に苦しむ日本は或は勞兵會に反感を有する一派の爲めに煽動せられたるに非ざるか、然りとせば大なる誤解なりとす勞兵會は友邦たる日本に對し何等の敵意も惡意も有するものに非ず、故に陸戰隊上陸に關して抗議するものなりと云ふにあり、英國陸戰隊上陸に關しても同樣の抗議を申込みたるや否やは不明なり、而して浦鹽市民は何れも悔々として安からず、勞兵會は三々伍々市內の廣場に集りて將來の事に就き憂慮しつゝあり、且つ同會は市民が日本に對し敵意を有するが如き誤解を無からしむ可く言動を愼む可しと告示せり 又陸戰隊上陸に關聯し或はハバロフスクより若干の赤衛軍浦鹽に到着するとの說及びイルクツク方面より武裝せる獨墺俘虜の浦鹽に著せりとの說は全然根據無き風說なりと、右勞兵會の抗議に對し日本は如何なる態度を執るべきかは數日間の情勢に依り明かとなるに至るべく勞兵會その他の過激派行政機關に對し非公式の回答を與ふる事となるべしと。加藤司令官の上陸に際し布告せる理由書に徵するも日本政府は浦鹽に於ける無警察狀態は復舊せられ市內の回復を見ば直に陸戰隊を引揚ぐる事は明かなり、然れども果して市內の秩序が急に回復するかは甚だ疑問なる可と觀察せらる（東京特電）

◎聯合軍制空權掌握

新來の獨軍師團の大部分は豫備隊より繰り出されたるものに非ず他の戰鬪區域より移送せられたるものゝ如し此事實は獨軍が兵員を節約し始めたるを示すものなり英佛軍飛行機はソンム戰線にて決定的に空中制空權を掌握せり（巴里特報）

◎銀行手形支拂停止

ブラゴエチエンスクに於ける勞兵會は國立並に私立各銀行及び信用組合等の現金及び有價證券類が哥薩克並に過激派の爲め掠奪され又貯金者多數が逃亡せる爲め今後手形に依る一切の支拂を停止する旨を公布したり（哈爾賓特電）

◎伊國捕虜天津へ

七日伊國捕虜二百名は北方より奉天通過天津に向へり猶引續き多數の同國捕虜通過する筈（奉天特電）

◎張氏斷髮令の嚴行

張作霖氏は今回斷髮令を施行し七日より長髮者は發見次第警察署に連行して强制的に斷髮を爲さしめつゝあり（奉天特電）

◎佛國汽船沈沒す

乘客船員驅逐艦に救助さる

七日朝五時佛國汽船アンヅルボーン號（一萬三千噸）は新嘉坡の沖にて沈沒せり乘客船員二千五百名の內日本人二十一名にて負傷者三名あり若干の某國驅逐艦は是等遭難者を救助せり因に同船は浮揚すべき見込あり（香港電報）

◎慶北檢繭成績

三月中慶北[illegible]八九五、三[illegible]二、一五六不合格四五〇、計[illegible]叺、商尾一等三四、二等二四六、計[illegible]八〇叺

[illegible]會終了後竹印五六俵は五圓七十錢[illegible]錢現物も亦四圓九十錢まで低落し[illegible]定せる鈴木商店の未積品たる約二三の意嚮なるが如きを以て關東の滯[illegible]しだれば反動的に[illegible]ばらんとするの振合なるに一方原[illegible]んがとも察せしむ可き節あるを以て[illegible]或は休止せ[illegible]

◎各師團長參內

全國師團長會議の爲め上京中の由比近衛師團長以下各師團長は八日午前十一時三十分參內表御座所にて天皇陛下に拜謁を仰付られ各々軍狀伏奏終りて午餐を賜りたり（東京特電）

◎辭令

八日左記の通り辭令ありたり（東京特電）

陸軍步兵大佐 許斐良太郎
同 野島貫一
同 藤田直太郎
任陸軍少將（各通）

陸軍少將 藤田直太郎
補步兵第四旅團長

陸軍少將 許斐良太郎
同 野島貫一
待命被仰付（各通）

□英國皇帝並に佛國大統領に御親電

天皇陛下には歐洲西部戰場に於ける戰況に關し本月六日大不列顛國皇帝陛下並に佛蘭西大統領閣下に左の御親電を御發送遊ばされたり（東京特電）

英國皇帝陛下

朕ハ刻下西部戰場ニ於ケル局面ノ進展ニ際シ顧念特ニ切ナリ惟フニ開戰以來英國軍人カ驍勇堅忍ナル傳來ノ素質ヲ發揚セルノ顯著ナル事今次ノ如キハナシ陛下ノ軍隊カ最近數日間熾烈ナル敵襲ノ衝ニ膺リテ克ク是レニ耐ヘタルハ當サニ朕カ常ニ英軍士氣ノ旺盛ヲ見ルノ欣快ト並ニ聯合軍終局ノ戰捷ニ歸スルノ確信トヲ益深カラシメタリ朕誠ニ是レヲ悅フ

御名

佛國大統領閣下

朕ハ刻下西部戰場ニ於ケル局面ノ進展ニ際シ顧念特ニ切ナリ聯合軍ハ今次熾烈ナル敵襲ニ對シ克ク是レニ堪ヘ此間佛軍ノ現シタル勇戰ト協同ノ精神トハ朕ノ深ク歎賞スル處ニシテ聯合軍終局ノ戰勝ニ對スル朕ノ信念ヲ益固カラシメタリ朕誠ニ是レヲ悅フ

御名

◎地方長官召集

地方長官警察部長の召集に就ては內務省にて日取詮考中なるが多分地方長官は五月五日頃より警察部長は十日頃より一週間召集する事となる可しと（東京特電）

◎高等文官試驗

高等文官試驗令第七條に依る本年度豫備試驗は十日より二十九日迄東京高等師範學校附屬中學校にて施行する筈なり（東京特電）

◎眞野總長歸任

九大總長眞野博士は滿鮮視察の途馬山、晉州を經て大學演習林の模樣を視察し海路馬山、鎭海を視察八日午後七時著釜ホテルに休憩高麗丸にて歸途に就けり（釜山特電）

◎小川運平氏演說

奉天彌生座に於て七日夜七時より小川運平氏の『對露問題と對支問題』『帝國の國是』と題する演說會開催され盛會を極めたり（奉天特電）

◎鮮米と酒造

內地よりの通信に依れば鮮米は總督府の奬勵其の宜しきを得て種米の選擇、施肥の改良仕上の方法進步せる爲め品質著しく向上し殆ど內地米との間隔なき程度に至り今回內地米價昂貴の結果多量の移入を爲し內地に於ても朝鮮米の使用者增加し一時は酒造家に於てさへ之を酒造原料米として使用したる者もありたるが其の結果に依れば酒造米としての成績も佳良にして何等內地米に劣る點なしとて東京の國立釀造試驗所にても酒造米としての適否を詳細調査研究したるに同樣內地米に異ならざるの結果を發表するに至り是由是觀之朝鮮に於ける內地人の移住增加し一面鮮人の日本酒飲用量增加するに至りたる曉に於ては朝鮮に於ける日本酒釀造も漸次發展するに至る可しと

◎鮮鐵收入增加

前年より三百卅萬圓增

滿鐵京城管理局に就き大正六年度に於ける同局線內營業收入概算を聞くに營業哩數千九十二哩に對し乘車人員六百九十五萬一千二百三十八人小手荷物二千六百六十六萬一千六百七十斤貨物二百十九萬二千九百七十五噸之に對する客車收入九百九十一萬一千百二十六圓貨車收入六百三十四萬五千四百十九圓合計運輸收入一千二百二十五萬六千五百四十五圓にして前年度に比し三百三十一萬八千八百十六圓の增收なるが更に之を一日一哩平均收入に就て見るに本年度に於て三十一圓十六錢を示し前年度の二十三圓七十錢に對比すれば七圓四十六錢即ち[illegible]の增收

◎東拓九回移民

東拓會社に於ては本年度募集すべき第九回移民は既に土地の選定を了し其收容戶數を第一種一千戶第二種五十戶と定め目下總督府に認可申請中なれば茲數日中には認可の指令に接すべきを以て近く發表と共に募集開始を爲すべしと

◎南北滿洲と北支那

意外な事、驚いた事、羨しい事

總督府農務課長 青木戒三氏談

滿洲及び北支那に出張中なりし總督府農務課長青木戒三氏は八日午後七時廿五分南大門着列車にて歸任したるが其觀察談に曰く

北支那の要地には殆んど全部、吾輩最初の足跡を印した、特に或事物に就て調査だの研究だのを遂ぐべき使命を含んで居た譯で無く、謂はゞ見物に行つて來たので、格別のお土産話も無い、尤も北京では一寸調査して見たいと思ふ事があつたので

◇或官衙に 就て質したが、民國三年迄の統計より無かつた、爾後の分は無いかと訊くと、內亂の爲め手がつけられぬ―といふことで、而かも折角出來て居る統計も精確なものか何うか分らぬといふ當局者の言であつたから、其の取調べは見合はせたが、矢張り見物に行つた効はあつた、先づ意外に感じたのは靑島で、從來は避暑地か何かのやうに思つて居たが、其處は立派な工業地だ、落花生を原料とする製油工場、鷄卵の粉を製造する工場、麥酒工場、製絲場等があつて

◇抒々盛ん なものである、山東省の產繭は打見たところ貧弱だが、品質は頗る良好で、何れ生絲は土物が出來ると聞いた、何しろ奧地には豐富な炭田を控へて居るから、工業地としても靑島の前途は多望である、それから山東は有名な棉花の產地であるが、試驗場で栽培した陸地棉は實に見事なものであつた、先頃農商務省からも又木浦からも調査に行つたが如何なる報告をしたか知らないけれども

◇將來日本 の資本を以て栽培させるのに好適の地であると思ふ、驚いたのは滿洲の大豆だ、大連の埠頭に四十二萬噸、何處に十萬噸、彼處に十五萬噸といふ有樣、實際、話丈けでは眞個に驚くことは出來ない、羨ましいのは諸事業の規模が大きいことだ、何と云つても朝鮮とは總てに算盤の桁が異ふ、撫順も見た、本溪湖にも下車したが、人傳に聞いたのでは十分に羨ましがり得る資格が無い、本溪湖に著いた時などは宛然

◇火の海に 飛込むだやうな心地がした、支那式に穴を掘つて石炭を填め、燒いてコークスを製る其火が天を焦がすばかりだ、之れは石炭の豐富な滿洲なればこそ出來ることで、今年からは洋式の爐を建造してコールタール其他の副產物を製造するそうだ、變な氣持ちのしたのは、哈爾賓に行つて、支那兵が同市の秩序維持の任に膺つて居るのを目擊したときであつた、何ともいふことも無いが

◇滿鐵沿線 を守備するカーキ色の軍服を長春から北で見かけないのは物足らぬ、四鄭鐵道で鄭家屯にも行つた、吉長鐵道で吉林をも訪ふた、而して吾輩の觀察に從へば、世間では蒙古の開發を云ふけれども、滿鐵より東方の開發を先きにすべきである、蒙古の富源とか遊利とかは要するに未知數ではあるまいか、序に慾を云へば、長春以北の平野を何うかしたいものだ、

◇一望際涯 無き沃野で肥腴の地たるを有限せしむる、現在に於ても所產の物資は滿洲の富の大半に當るのである。

◎阪谷男消息

過般來朝鮮巡遊の途に就き北京に赴きたる阪谷芳郎男は目下グラウンドホテルに滯在中也と

◎西川博士通過

九州大學敎授工學博士西川虎吉氏は撫順に於ける硫酸アンモニヤ製造狀況視察の爲め八日午後九時南大門通過北行せるが同地より更に大連に向ふべしと

◎久保田技師通過

北京駐在を命ぜられたる鐵道院技師久保田敬一氏は八日夜九時南大門通過赴任す

◎仁川雜信

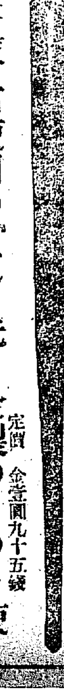
朝鮮化工進捗 仁川に創設せらるべき朝鮮化學工業株式會社は曩に當局へ設立許可申請書提出以來數回に亘り發起人會を開催し樂計に就て打合せを爲す處あり同社は創立事務所を仁川商業會議所內に置き許可の至る迄の臨時經費は發起人各個に於て應分の出資を爲す事を決し委員及び擔任書記等を選任し更らに本店所在地たる仁川に於ける敷地候撰の件等を決定し着々其準備を進捗せしめつゝあり而して各方面に於ける引受株數は豫定を超過するの好況なるが最近黃州及び下關等より多數の申込みあり爲めに各個人の持株を減じ其の要求に應ずるの止むなき狀態にあり▲月尾島植樹 月尾島は由來風光明媚を以て一般に知られ居れるが本年よりは一大公園たらしむるの計畫を樹て數日前より櫻樹約二萬及び松其他約十萬の植樹を爲しつゝありしが既に全部の植付を見たり本年植栽の櫻樹中には八尺乃至一丈に達するものあり今春開花を見込みのもの五百本以上を算せり本年度は春の候は從來の櫻樹數千本と共に花の月尾島は一段の風致を添ふるに至るべし▲壯丁檢査 本年度仁川在住者にして朝鮮に於て徵兵檢査を受けたる者九十名に達し四月一日より龍山第七十八聯隊に於て受檢の結果甲種合格者四十八名第一乙種合格者十四名合計五十一名を出したが成績頗る良好なりしと

◎[illegible]

▲入京中のペリー博士は朝鮮ホテルに於ける歡迎會の席上で▲日本の監獄制度は刑罰主義から改惡遷善主義に改良されたと許したが朝鮮には活きた實例があると▲間島頭道溝の商務會長武楠勤と言ふ支那人は昨年阿片密賣の廉で咸興の監獄に收監されたが▲殘虐な支那の監獄と違つて設備と言ひ囚徒の待遇と言ひ非常に良く日曜には牧師の說敎まであるので茲に始めて日本の監獄は慈愛ある懲罰を加へつゝある事を知り日本に對する反感は全く解け斯る進步した法治國に於て子弟の敎育を施したならばと思ひ立ち遂に本年二月頃出獄すると同時に▲賢子の武振凱と甥の武振民を日本に留學させる事として兩人は本月三日出發したが此事を聞き知つた頭道溝の商埠分局長の居啓榮も時勢に感ずる所あつて我子の居寶鑑を同行させた▲改惡遷善主義の監獄制度が人道上如何に大なる福音を齎らすかと言ふ事は此の一事でも全斑を窺ひ知る事が出來るが日支親善の上にも一道の光明を與へたと言ふ事は吾々の最も注目すべき事であらうと思ふと某大官は語つた

人事消息

▲[illegible]氏（[illegible]）八日夜入京天眞樓へ ▲紫田理氏（大倉組店員）同上 ▲ペーリー博士 九日朝發平壤へ


米國製 正十四金ペン 特殊創案 自働インキ含裝置『パインビジネス』ペン

定價 金壹圓九十五錢

進步的經濟的文房具の需要に加はり平常使用の『ペン』先に金製のものを使用するの最も適切なるを俟たず、而して此の金ペンは唯一の『ペン』先を裝する軸エボナイト製に到りては特殊創案の『インキ』を含ませしむるのみ向裝置せしめ『ペン』の背後に密接する『ペン』先に耐久力が期せらるゝのみならず一度『インキ』を含ますれば宜しく數頁の使用に耐ゆる頗る理想的の商等文具にして各銀行、會社、官廳より御用陸續たり

發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

レクモン

一日も早く衰弱を恢復せんとせば近時醫界の信認厚き

新滋養劑 レグモン

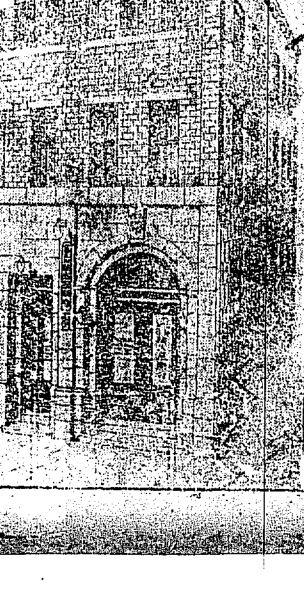
を服用せらるべし、レグモンは……京都醫科大學教授森島醫學博士より有效滋養劑として醫界に推獎せられたるものにして多量の消化吸收性蛋白質と一種靈妙の作用を有する吸收性カルチウム塩を含有するが故に、食慾を振起し、榮養を佳良にし、一般衰弱狀態を速かに恢復せしむるを以て、總ての衰弱諸症に最も有效なる滋養劑なり（說明書無代郵呈）

（定價）百瓦入 金[illegible] 貳百瓦入 金貳圓貳拾錢 四百五十瓦入 金四圓五拾錢

大阪市東區道修町 一手販賣元 武田長兵衛商店

近刊 株式大學

特殊會社出版部編纂の本著は株式業界に於ける權威にして成金學唯一の敎科書、最も安全にて確實なる株式賣買法を說く

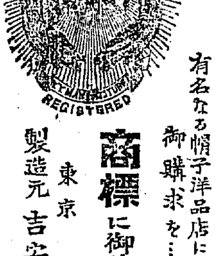


合資會社 榊生屋商會

株式現物部 信託部 金融部 出版部 調査部 廣告部

電話本局二一一一番 二一〇四番 二三八八番 電話局長 一〇八九番

（キッボマヤイウトク）ヌ（フリキ）



春の逍遥に最も相應しき

日ノ出向鳥印 鳥打帽子!!

柄合優雅にして亦最も輕快なり

有名なる帽子洋品店にて御購求を……

商標に御注意

東京 製造元 吉安商店

[illegible]…三等九四〇、不合格一五二一、計二…合格三二九、…不合格四一、計二五七…

●輸出特許 [illegible]

▲市場氣迷商狀 現物は[illegible]を呈し五日的印五六限五圓四十三所なるが四日政府は聯合與國と約[illegible]萬袋)は關東より積出さんとする[illegible]れば嫁氣の買物滿みにて漸落步調[illegible]賣双方共に出動を躊躇せしめたる[illegible]し爲替許額中尠くとも二萬噸(目せる事とて實需としては一般に[illegible]送られ居りたると目下需要期に接[illegible]到底ならざる會社側にては既に[illegible]例年以上に操業を行ひたる上なれ[illegible]

●連絡船上陸客 七日午後釜山入港對馬丸二二等客 [illegible]

●監獄作業

◇にはこれ等の ◇利得が有る ―民間企業家が注目して來た―

◆囚徒を利用するのは社會政策の一部である◆

西大門監獄 柿原典獄談

斯樣に社會から監獄の作業と言ふものが注目さるゝやうになつた證據として大正六年度は五年度に比較して其の收入額も五割五分强の增收となつてゐる殊に昨年十月頃から本年に掛けては新らしい製造工業や

▽囚徒作業 に就いて計畫を立て、申込んで來たものが頗る多く今迄に監獄で試みてゐなかつた西洋洗濯、紙漉き、角細工、豚毛のブラシ細工といふやうなもの迄も續々依賴して來だした夫れで監獄でも其の事業の性質、數量、囚徒の勞力、經費と言ふやうな諸點から打算して可及く其の要求に應ずることにしてゐる、併かし

◆一般物價の暴騰

勞銀の昂上と

に對照して監獄でも先方一般關係の事業家に製品價格の値上げを交渉したが皆々喜んで其の要求に應諾した縱令値上げしても尚且つ市中での賣品に較べては幾分安いことは一般の承認してゐる所である夫れで監獄所在の都市に住まつてゐる企業家や商賈は監獄の作業や製品を利用することとは言はヾ

▽一擧兩得 の策で內地では狹くから監獄を利用してゐる向きが多い更に近來では內地居住の商人が滿鮮の監獄工場に迄も著目するやうになつたのは事業の勃興と共に新らしい傾向と言はねばならぬ爲めに朝鮮や滿洲に捌ける品物があれば原料を滿鮮で得れば一層便利だが假りに運賃や通關稅を支拂つても

◆其原料や半製品を

內地から移入

じても製作し上げれば猶利益のある品物や事業があると思はれる先頃內地から監獄の視察に來た或る企業家の如きも監獄の工場なるものを非常に注意を拂つて視て行つた囚徒の中でも朝鮮人は內地人に比較して應用力は鈍いが一般仕事に忠實なこと指揮者の敎へをよく守ることとは內地人囚徒の及ぶ所ではない爲めに

▽覺え込み も早く隨つて技術の熟達も早い大工仕事や指物類の如きはなかく手際の優れたものが多い是等囚徒を利用することは一面から言へば社會政策の一部分と言へる譯で假りに監獄に繋がれて作業しないとしても是等の囚徒たる刑事被告人は社會のものが職を與へて食へるやうにしてやらねばならぬものである夫れで

◆獄中でも働かせて

手に技術を敎

へ他日釋放されても生計に困らぬやうに仕向ける必要がある此の修業なり勞役なりを利用することは企業家の最も著目する所である更に斯く監獄の工場が盛んになつて來れば一般世間の工場に影響するかのやうに考へらるゝかも知れないが夫れは自ら性質を異にしてゐるから何等

▽競爭等の 生ずべき筈もない、因みに昨年來物價の騰貴は細民に生活難を來たすことが多い爲めか、著しく窃盜犯人が殖ねてゐることだ、食へないから惡事を働くといふ法はないが囚徒は確かに增してゐる、西大門監獄の本監だけで大正六年三月末には未決囚二百二十三名、受刑者一千六百四十三名であつたものが

◆七年三月末には

未決二百六十

九名、既決一千八百三十八名の多數に達し約二百名の增加である、是れら殆ど窃盜犯人が主なもので其の他詐欺横領等の犯人も幾分加はつてゐる(完)

□東宮殿下還啓

京都御滯在中の東宮殿下には八日朝九時半二條離宮發東京へ還啓あらせられ同夜は靜岡御用邸に入らせらるゝ御豫定の由なり(大阪特電)

●喇嘛僧一行 新宿御苑拜觀

喇嘛僧一行は八日新宿御苑の拜觀を許され苑內の春色を賞し一同光榮に感激せり夫れより一行は三越吳服店を訪ひ正午過ぎ日比谷公園の釋奠降誕會に參列せり(東京特電)

●後藤氏 墜落す

後藤氏は八日丸龜にて飛行中墜落し下翼を裂き支柱三本を折り猶プロペラー横一尺許りと車輪を破損せしが氏は幸に無事也(丸龜特電)

●舞の手振りも華やかに 賑ふた櫻風會 慈善演藝會

櫻風會主催の慈善演藝會は豫報の如く八日の午後七時から朝鮮ホテルで開かれた、賑かな李王職の樂隊が奏でる春の夜の曲に伴れられて陸續と集つた來會、の數は三百に餘つて會場は乙等紳士淑女のあざやかな

▽春の裝ひに 埋められた、喜多流の仕舞櫻川に會は始まつて電氣會社の村尾課長が落著いた謠の手振を見せて喝采を博すると山縣五十雄氏夫人のピアノの演奏常盤津は力の這入る樽太皷に肥後夫人が撥の冴ねを聞かせる、一ノ瀨南大門氏の絃で鄕船の吉田さんが酒屋の段を唸ると呼物の

▽式三番叟で 通運の村瀨氏が例の好い咽喉に三井の笠原氏の舞振りは全く上出來で切りに額を捻つて感心してた人があつた終つて三十分の休憩に食堂で茶菓の饗應があると引續いて中村、横山、坂出の三令孃が花見の活人畫が婦人の

▽嘆賞の的と なる、羽衣の素謠から尺八、狂言、長唄と進んで散會したのは十一時過ぎであつたが斯くも盛會であらうとは誰も豫期しなかつた事であつた。

●花見すがた―八日夜朝鮮ホテルに於ける慈善演藝會の活人畫(右より坂出令嬢、中村令嬢、横山令嬢)

●中隊長暴行事件

金澤步兵聯隊小林中隊長暴行事件に就き高岡聯隊管內將校團は決議の上師團長に對し相當の手續を進れり(大阪特電)

●調停は容易で無い

支那人團一先づ鐵山に引揚ぐ 兼二浦市內の秩序回復せず

既報の如く大騷擾の出來せし兼二浦は八日正午十二時に至るも市內の秩序回復せず鮮人團體は內地人を加へて太神宮山上及び立峯山附近一帶に集團し支那人團の

▽來襲を防禦 すべく警戒怠り無し支那人一千餘名は兼二浦北方山頂に集團し居たるが巡査部長は本社支局記者と共に支那人團の集團せる山上に來り穩かに解散すべく說告したる所彼等は手に手に兇器を携へ容易に應ずべき模樣無きより本社記者は說出部長より巡査及び消防隊に出動通告を託せられ下山の途中田部黃州警察署長が巡查數十名及び消防隊八十餘名を引率し來れるに會せり斯くて田部署長は集團せる

▽現場に於て 解散すべく極力說諭したれば彼等は一先づ鐵山に引揚げたり而して午後二時より駐在所に於ては鮮人及び支那人の重なる者十數名を招集し早々和解すべく交涉を開始し竹中小川の兩有志者は極力之が調停に腐り居れるが五時過ぐるも未だ解決する能はざりし且つ死亡者重傷者等は支那人側に多く且つ支那人は二千餘名の結束固きが爲め調停容易ならざるべく何時來襲を見やも測り難きより市民は戰々兢々たる有樣なり又兼二浦市民は午前中

▽四臺の貨車 にて黃州方面に避難したるが其の後尙ほ續々同地方面に避難しつゝあり尙鮮人家屋及び支那人家屋の破壞されたる狀は慘澹たる光景を呈し居れり(兼二浦特電)

▼避難者を出したのは當然

―大騷擾と兼二浦市街―

市街地は極めて狹く雜居して居るのだから

◇三千名の內地在住者は驚いたらう

鮮人入夫と支那人職夫の二千名以上が兼二浦市街で爭鬪し互ひに死傷者を多數出したと云ふ事件は近來の椿事である一體兼二浦は十年以前

◆鐵道 工場があつた頃は中々市況も盛んだつたけれど其後工場は平壤に移り兼二浦は殆んど寂滅の有樣であつた、然るに數年前より三菱が製鐵所の建設を始めて市況復活し殊に一昨年來工事が非常の盛況を呈し從て兼二浦も大に

◆發展 の域に達したのである、然し乍ら其の市街地は極めて狹い面積であつて、其の狹い間に雜貨屋郵便局小吳服屋などが軒を並べ其の間々に內地人の曖昧家と朝鮮人の蝸市家が盛んに建つてゐる、家は溫突が多く日本建の家は丘一つ隔てた三菱製鐵の社宅を除くとバラック建の貧弱なものばかりである、蝸市百餘名が

◆避難 したと云ふ駐在所は製鐵所のすぐ傍らにあるが溫突改造の極めて狹い二階位の建物であつて恐らく其の避難は構內に收容したと云ふ意味であらう、何しろ狹い土地面も建築は粗造加ふるに內鮮人雜居と來てゐるから數千名の

◆手鬪 を演ぜられては內地人在住者約三千名は少なからず驚ろいたであらうし避難者を出したのは當然と思ふ、序でに三菱製鐵所は近く製鐵の開始を行はんとする際であるのにかゝる事變を見たのは甚だ遺憾であるし又其の

◆和親 を新にする事も中々困難であらう、兎に角製鐵會社の痛手と云つて差支へない(某氏談)

▼一段落か

死傷者に見舞金贈呈

竹中、小川兩調停委員は三菱製鐵所に交涉の結果死傷者全部に對する弔慰見舞金として五百圓を提出する事と成り一段落を告げたるも集團猶未だ解散せざるより黃州警察署にては東兼二浦里に警戒所を設け徹宵警戒に從事せり(八日午後九時兼二浦特電)

●異彩を放つ 朝鮮館

―花の福岡に― 物產共進會 愈々十日開催

本社視察團は十七日觀覽

福岡市に於て明十日愈々開會の運びとなつた九州沖繩聯合物產共進會の諸工事は會場の內外共に全部竣成したが夫と同時に

◇各縣の出品◇ は大小の荷車牛馬車などでどしく運び込まれ、六七日頃は出品の陳列で場內恰も戰爭のやうな光景を呈した何分出品點數約七萬と言ふ大多數であるから全部が開會當日までに整理されるかどうかは豫期し難いけれども大部分は開館前日までには

◇飾付けられ◇ 開會式は豫定通り十日午前十時に擧行さるゝのは間違なからうとの事である、其外福岡市工藝團體の卽賣店建物も本館後の各種建物も略八分通りは竣工して居るが執中朱塗の朝鮮館と淡紅色塗の臺灣館は東西に相對し共に

◇古來の建築法◇ に象つて建設されて居る丈けに諸建築物中異彩を放つて居る朝鮮館の附近には特設館が立列び福岡美妓が出演する演舞館もある斯樣に開會期迫つた會場內は混雜其極に達して居るが福岡市中は人氣が沸き立つて素晴しい景氣である(福岡より)

●行衞不明二名

三月三十一日黃海道金津郡九月浦沖合にて帆船珠音丸沈沒し行方不明鮮人二名を出せり

お國自慢

九州視察團の視察する國々

朝鮮の匂ひが高い熊本 山崎連氏談

私が國の自慢、そりや大分有るが餘り多過ぎて徒らに視察者の心を惑るに過ぎぬから今度貴社の催しに係る

視察團の日程

に就て言へば先づ汽車で行くと筑後境ひの有名な三池炭山を左に右に聚落を眺め肥後の國境に入ると山麥秀麗の金峰山の連峰を車窓に展望し高瀨驛を過ぎて田原の古戰場を迎へ斯くて上熊本に入るのである熊本で第一番に訪問すべきは

◆本妙寺 であるが此寺は朝鮮に緣故の深い加藤清正が建立した寺で開山には朝鮮の僧侶を迎へ清正の墓の左右には殉死した大木と言ふ家老と鮮人の金官の墓があり境內の一部には朝鮮芝が移植されてゐるなど歷史的に

朝鮮とは緣故

が深いから視察團に取つては興趣津々たるものが有るだらうと思ふ、熊本唯一の名所水前寺は細川侯の別莊で東海道五十三次に模した庭園があつて園內到處から淸冽な泉が滾々と湧出て鯉や鮒を飼し旨て

◆伊藤公 が此處の鮒を賞美したと言ふ有名な話もある程だ熊本城は江戶大阪と共に三城の一で谷將軍が重圍の中にあつて善戰し南健兒を喰ひ止めた名城で眺望は飽託の原野を一眸に收め鎭西八角で有名な雁回山の蒼翠に對し其雄大さは言語に絕して居る市內には

蔚山町高麗門

なども有り朝鮮飴の特產あり藥酒に似た酒が士族間に自家用として釀造されたなど何から何まで朝鮮氣分に親しみ得るは一面懷しい味を與へられると共に日鮮融合の好機を與へられるやうに感ぜられるではないか。熊本を出で、八代の驛を過ぎると耶馬溪と共に九州の大絕勝たる

◆◆玖摩山 峽に入るが山峽中玖摩川の激湍岩を嚙み其の激流中を鼻能擺つて舟が上下し汽車は曉巖怪石を縫ふて山腹を馳るなど一家の雄壯なる事恰も蜀の棧道を小さくしたやうな偉觀を呈してゐる我々肥後人は此の絕勝を天下に紹介する事を誇りとするのである

商業登記公告

商號ノ新設。商號藤原八郎商店、營業ノ種類日用品及和用雜貨、營業所楊平郡葛山面楊根里參百九番地、商號使用者ノ氏名住所楊平郡葛山面楊根里參百五拾壹番地藤原八郎 右大正七年參月參拾日登記

商號ノ新設。商號花月亭、營業ノ種類料理店、營業所楊平郡葛山面楊根里參百五拾壹番地、商號使用者ノ氏名住所楊平郡葛山面楊根里參百五拾壹番地藤原八郎 右大正七年參月參拾日登記

京城地方法院楊平出張所

一綿粗布 參百貳拾四反外貳品 右購買ス詳細ハ四月八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

開運指導 敬神家は悉く來て神德を受けよ 病氣不運の人又は數年來の病難に必ず全治又は開運の諸術を指導す 東京 本局 湯島四丁目 神誠敎會

京日案內

◎配達人入用 至急入用 黃金町二丁目 京城新報社 645

◎女給仕入用 希望者は紹介者を持て申込あれ

代診一名看護婦一名入用 [illegible]

入札倉庫 [illegible] 644

魔法瓶 及魔法瓶 中瓶 [illegible] 京城本町 高木旅行用具店 639

便利屋 [illegible]

書記 [illegible] 641

鑛物各種分析 田部分析所 [illegible] 98

楓各種 京城植物園 610

恩給年金立替 國江商會 69

代診看護婦 [illegible] 仁川 佐藤病院 530

外科 皮膚科 內科 花柳病 小兒科 島崎病院 京城旭町一丁目(本町通り左に入る) 電話二七三六番 入院隨意 診察夜九時迄 院長 正六位勳四等功五級 島崎龍一

在庫品概略 一吸入瓦斯エンジン(附屬品付) 拾貳馬力 拾四馬力 拾五馬力 拾八馬力 壹臺 壹臺 壹臺 壹臺 右機械は石油發動機改造品にあらず 一米國製自働磨擦圓鋸機 壹臺(但し三面挽)附屬品付 一米國製ローラ送圓鋸機 壹臺(附屬品付) 一新調品メタル(皮)シャフト車各種在庫品豐富 機械材料商 京城太平通り二丁目五九 安達機械販賣部 電話五九五番

東京日本橋元大坂町 高木與兵衛 懷中要藥 清心丹 氣分を爽にし船車の不快、過酒食、嘔吐下痢、時候アタりの豫防藥 胃腸を健にし消化を進め赤痢、コレラ、腸チブス等の豫防となる

本店 京都市御池通富小路西入 富永製作所 電話(長上壹壹八四番) 支店 神戶市元町六丁目 電話(上二八二八番) 營業課目 水道衛生器具諸材料、衛生陶器建築用陶器煖爐及喞筒類專門製作直輸出入卸專業 特約店 京城黃金町二丁目 石田商店 ◎從來直接御用命承り居候處今回右同店へ特約仕候ニ付何卒御下命ノ程奉希上候

眼科專門 入院隨意 京城明治町東拓横(電話二〇四四番) 江頭眼科醫院 江頭富雄 日曜祭日午後二時迄

驅梅新藥 ヨーチシン 本劑は元大阪醫科大學病院皮膚病科敎授佐多川先生の實驗報告に示す如く第三期梅毒に使用して奏効偉大なる最新藥なり 定價 一瓦入四十錢 十瓦入二圓九十錢

円形禿頭病新藥 ヨーチシン軟膏 本軟膏は梅毒性各種の皮膚病疾患に對する特効藥にして殊に圓形禿頭病(ダイワンハゲ)に使用して確實に奏効する新藥なり 定價 一瓦入五十錢 要送料

特許 ヨーチシン 新しいスピロヘータ……(特許) [illegible]

本店 大阪市東區島町二丁目 電話東六二〇七、振替大阪六〇九八 東京出張所 東京府下[illegible] 合名會社 大阪化學研究所

産婦人科 京城壽町 醫學士 二宮亮吉 二宮醫院 電話 一二〇一番

櫻御殿

第百九十六回　大阪　霞の家主人

英雄の涙（三）

正則は耳を欹てた、清之丞の聲に力が籠る

『正しく清之丞、空腹では出ぬ聲ぢや、われ等これへ參り居るのを知つて面當に謡ふよう聞こゑる、憎さも憎し、あの口を引き裂いて遣りたいな』

心には斯う思つたが、番人の手前面を出す事はならず明方に引き返した

『御前やはり誰も參りませぬな』

『いよ〳〵不思議ぢや、然し食事無くて生きる筈の無い事は明瞭、今夜は獲物なくてもその中に罪人の素線を得られる時が參るであらう、明日の晩も供致せ』

珍齋は悲しいほど辛く思つたが主命に背く要は無い、その夜もまた供に立つた

されど怪しい物の影は見ゑず、清之丞の謡ふ謡の聲が朗々聞こゑる、正則はまた明方頃に引上げた

『やつぱり誰も參りませぬな』

『誰も參らぬ、然し、清之丞の聲に弱りが見ゑた、察するところ、我等が隅櫓の模様を見屆けに參るのを知つて、食事の運びをさし控へる者があるようぢや、大分模様が知れて來た、もう一晩參つて見よう』

珍齋は同じ音色に聞かれたが、正則にはそこに多少の衰弱のあるのが聞き分けられたものと見ゑる、次の晩もまた出かけた、然し何の異りもない、その夜は謡も聞こゑなかつた

『今夜は何も聞こゑませぬ』

例の通り、明方に居間へ歸ると珍齋は斯う尋ねた

『謡ひ歌ふ聲が出ぬほどに衰へたのぢや、もう一晩行つて見よう』

珍齋は恐しい心が除れて、そこに興味を覺ゑて來た

『それが宜しうござります』

詰所へ退つて、眠氣ざましに茶を立てゝ飲んで居ると、道齋が心配顔をして出仕した

『毎晩御苦勞ぢやの』

『これ夫を云はつしやるな、内密ぢや、大殿へ聞こゑては相成らん』

『やはりお出かけか』

『毎晩出かける、兄弟同様に暮らすお主だけへ打ち明けるが、不憫や、清之丞は死にさうぢや』

『はて、何うして？』

『大殿御見分のことが分つて、誰も食事を運ばぬのか、昨夕なぞは謡うたふ聲さへせぬ、已に一昨夜は聲が衰へて居たさうぢや』と珍齋は囁き語る

道齋はハツと思ふ

『清之丞は平生の身體でない、今までに食事が足らいで、六七分も衰へて居る、そこへ三日四日不沙汰をしたので、げつそり疲勞したのであらう、大殿の目に掛つて、磔刑にされるまでも、恩ある人を干殺しにはしたくない、ちやうど食事を用意した、今夜はこれを持つて行かう』

その日は當番であつたので、それ〳〵に用務する、その中に日が暮れた、珍齋は御前へ出る、道齋は詰所へ入る

宵暗を幸ひに道齋は隅櫓へ近づいた、番の者は皆な手懐けてある

窓の下へ寄つて

『清之丞どの〳〵』と呼んだ

『道齋か』

清之丞は威嚴の籠つた聲で答へて、日く窓から面を出した

『食事を參らせる、然し、これが運び納めになるか知れない、その時は潔う死なつしやい、手前も遠からず追ひ付き申す』と餘所ながら暇乞ひした

『何とお禮の申しようもない、此方の蔭でお奥の惡人芳野を退治することが爲きた、いつ死んでも大事ない、この恩はあの世から返し申すぞ』

セルの流行

◇世間よりも一歩二歩乃至は五六歩も先へ〳〵と流行品を陳べて見る呉服店ではセルの新柄を競つてゐます

◇ホンの年常著の圏内にゐたセルが數年前から頻りと羽を伸して來たのは流行界の又一現象です。

◇セルに於いても茶系統の勢力は可なり久しいものでした、それが今春は鼠系統に一變せんとする傾向があります、寧ろ傾向があるといはんよりも

◇茶に倦みつゝある世間の好みを鼠に向け樣と呉服店が努めつゝ在るといつた方が妥當かも知れません

◇ともかく新柄セルは鼠が多く又若手向きにはもつと明るいグリーン系統の物もあります、又色縞を現したのも見受けます

◇かくてセルは外出服にドシ〳〵用ゐられて縦縞をだん〳〵とあげて行きます、セルの傍英ネルも相變らず需要はありこの色とてもセルと併行してゐるやうです

□桂堂居句會

四月六日夜大和町の桂堂居に集るもの烏兎、崖城、森堂、袋人、靜軒之に桂堂主人を合せて六人、翌日は日曜と云ふのでしんみりと句作に從つた。互選が濟むと例に依つて批評が始まる、果ては俳論を揮ふもの、贅を弄するもの、酒に親しむもの、思ひ〳〵に興じて散會したのは十二時過ぎであつた。門を出ると春雨がぼつり〳〵と降つて來て如何にも句會歸りと云ふやうな感じがした。(靜軒記)

○春の水　○桃

春の水行く〳〵に任せて舟に在る　烏兎
野遊びの手の土洗ふ春の水　袋人
桃色の洋傘渡る春の水　桂堂
春水や薬屑流る〳〵橋の下　森堂
春の水山陰てゝ陽に光る　靜軒
崖の下に鶏飼ふ桃の古き家　烏兎
小供遊びけり桃の花崖　崖城
小豆餅赤き砂糖や桃の花　桂堂
若かゝりし其時戀し桃日和　袋人

○畑打

畑打や花に背きて我が一人　烏兎
畑打つや國の民こゝにあり　袋人
支那人と降りて打つや豆畑　同
住み馴れし此地畑も打ち馴れし　同
鶏林に畑打つや國なつかしき夕　崖城
樹木なき山に畑打つ白衣人　桂堂
跡をまたげて畑打つ人『手を去り　靜軒

回瀾詞

―四月七日―

□　芳子

山ふかき谷の岩根に咲きさかるつゝじはほしもその紅の

ゆれながら涙もる眼にうつり來るこの假き赤き丹つゝじの花

□　菜月

枝々のつゝじの花の影にあはず雨ふる今日をさびしらに咲けり

ひに夜につぎてし雨の降りたれば色はもあはく咲けりつゝじの

□　馱

溪川の一筋道のそこここにふかくひそまりつつじは咲けり

晦の日のふかくひそまる岩かげの淋しきさころつゝじ目立てり

□　阿皎良

かにかくに君なうしなふ淋にしてこの山つゝじ見るはさぶしは

君はぞ嶮く山の霞みてあれの谷つゝじふかぶか咲くらん春に

□　不審

ゆきゆけばゆきゆくさころいづれにも躑躅の間はつゝじ咲きけり

ふかくいろつゝじのなかに今はたゞなにも思はずなりにけるかな

新刊紹介（到着順）

▲經濟資料（四の四）滿鐵東亞經濟調査局の編纂に成るものにして [illegible]

▲東方時論（三の四）[illegible]

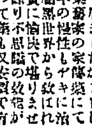
▲實業之世界（一五の七）十五錢 東京市有樂町一の四 實業之世界社

▲水產界（四二七）東京赤坂溜池 大日本水產會

諸者の領分

△近頃本紙朝刊の「歌壇」に「よし三」といふ [illegible]（自稱大歌人）△ [illegible]（附近細民）△朝鮮には [illegible]（新義泉の切望女）△ [illegible]（一野者の一人）

紳士の頭髪を飾る
高等煉香油
二葉ポマード
紳士ツクを要せず頭髪は思ふまゝ 貴婦人は申すに及ばず到る處で高評
大阪久寶寺町 化粧品問屋 角倉支店



淋病全快
[illegible]
〇東京淺草山ノ宿町五十一 石井榮夫

最新刊

佛像の研究	一八〇
支那古代史	一六〇
生命の文學	一六〇
國民的家庭動員	一四〇
日本の獨露の襲來	一三〇
戰費弔祭式辭答辭挨拶	一二〇
刀劍鑑定備考	八〇
見たる太平洋問題	一八〇
生か死か	一六〇
白樺の森	一五〇

英語の學び方　八五
發音自在新和英辭典　一三五
英文和譯法　八五
和文英譯研究　八五
代數解釋法　八五
化學新式　六五
國文解釋法　八〇
漢文解釋法　八〇
投入盛花大觀　一八〇

大阪屋號
京城本町通六八四 振替二〇八六

りん病ばい毒
ヮにせドラッグあり御注意
近來東京其他各地に弊ドラッグあり臨商せられざる様御用心あれ當京城に於てもドラッグ商會と稱する商號を盗用する詐欺漢なり

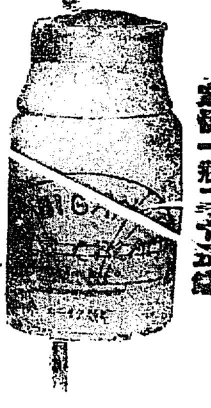
花柳病專門藥房
ドラッグ商會 本部
京城南大門通

十二圓二十一錢より十八錢先三十五錢 [illegible]
八日の六月限 [illegible]

高貴御用品の内

美顏クリーム

早々發賣 非常の好評!! 賣切!又賣切!!



定價一瓶二十五錢

御内意によりて創製したる美顏クリーム

美顏クリームは皆様御承知の通り、美顏洗粉と共に或る尊貴の御係から、御内意を蒙つて創製したる名譽あるクリームであります。

殊の外御意に適つた二箇條

色の白い事と、質の輕い事は舶來品以上であると、殊の外御意に適つたクリームであります。

ホンに理想のクリームとはどんなもの

普通のクリームには、多少ネバリ氣がありますが、原料から違つた美顏クリームには、少しのネバリ氣もなく、サラ〳〵として、つけた後の氣持のよいこと、ホンに理想のクリームとはこんなものかとお思ひになります。それに配合の妙を極めた芳香は、百花の園に遊ぶが如き思あらしめます。

桃谷研究試驗所自慢の製品

從來クリームをお使ひになつてゐる方であれば、一度使はれても、成程これは良いクリームであると、ハツキリお分りになります。

■美顏クリームの用法

(一)素顏の美　素顏の美を装ふ第一の必要品として、歐米各國では、精良なクリームが盛に用ひられてゐます。入浴、洗面後、美顏クリームをお顏の地へ、よく擦込んで置くようにすれば、皮膚を軟かにし、荒れを防ぎ、肌膚を整へ、つやをよく、キメを細かくし、素顏を美しくするに偉大な效果があります。

(二)お化粧下　お化粧下として精良なクリームの必要な事は、今更申すまでもありません。長時間のお化粧の美しさを保つのに是非無くてならぬ美顏クリームを、お化粧の御下用にお薦め申し上げます。

(三)新化粧　美顏クリームを下地に引いて粉おしろいをはき付ける新しい美しい新化粧法をお試し遊ばせ。

■美顏白粉、美顏水、美顏ユーヤー、白色美顏水、美顏洗粉、美顏石鹸、美顏クリーム

發賣元 桃谷順天館
東京市日本橋區本町四丁目（電話本局一六二六・一六二七・二三〇三）
東京市麹町區有樂町一丁目（電話新橋二六三九）實驗所
大阪市西區靭南通二丁目（電話土佐堀六〇七・六四八）